消 防 年 報

令和２年版

いちき串木野市消防本部

（令和３年刊行）

はじめに

この年報は、いちき串木野市消防本部の現況及び令和２年度における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関する事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

令和３年６月

いちき串木野市消防本部

目　　次

Ⅰ　総　括

１　いちき串木野市の位置・概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２　市域の変遷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
３　消防の沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２～４
４　歴代消防長（いちき串木野市消防本部）　・・・・・・・・・・・・・・　４

Ⅱ　総　務

１　いちき串木野市消防本部・消防署の組織　・・・・・・・・・・・・・・　５
２　消防本部・消防署・分遣所の事務分掌　・・・・・・・・・・・・・・・　６～７
３　いちき串木野市消防現勢分布図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
４　消防庁舎等施設の状況
⑴　消防本部（署）・分遣所　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
⑵　消防団　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
５　令和２年度の主な行事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
６　消防予算
⑴　消防予算の内訳　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
⑵　市総予算と消防予算　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
⑶　消防予算と人口・世帯数との比較　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
７　人事・教養
⑴　消防職員の配置状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
⑵　消防職員の階級別年齢構成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
⑶　消防職員の階級別勤続年数構成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
⑷　消防職員研修状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
８　消防団
⑴　消防分団所轄区域、定員及び幹部名　・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
⑵　消防団員の階級別勤続年数構成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
⑶　消防団員の階級別年齢構成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
⑷　消防団員出場状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
⑸　消防団員の報酬等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
９　いちき串木野市消防連合後援会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
１０　表　彰　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

Ⅲ　予防・危険物

１　防火対象物の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
２　防火対象物階層別状況（４階以上・棟数）　・・・・・・・・・・・・・　２０
３　建築同意事務等処理状況
⑴　建築同意状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
⑵　専用住宅建築確認通知状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

４　消防用設備等設置検査実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
５　消防法関係届出状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２
６　火災予防条例関係届出状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
７　防火啓発状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４
８　危険物施設の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４
９　危険物関係許可・検査処理状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
１０　危険物施設の立入検査状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
１１　液化石油ガス等の保安指導状況　・・・・・・・・・・・・・・・・　２６
１２　串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況　・・・・・・・・・　２７～２９
１３　消防協力団体の結成状況
⑴　いちき串木野市幼少年婦人防火委員会　・・・・・・・・・・・・　３０
⑵　幼年消防クラブ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
⑶　婦人防火クラブ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
⑷　防火管理協会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
⑸　危険物安全協会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

Ⅳ　火災・救急・救助
１　令和２年中の火災発生状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
２　火災統計
⑴　令和２年中の火災状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
⑵　過去５年間の年別火災概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４
⑶　過去５年間の原因別火災発生件数　・・・・・・・・・・・・・・・　３４
⑷　過去５年間の月別火災発生件数　・・・・・・・・・・・・・・・・　３５
⑸　過去５年間の曜日別火災発生件数　・・・・・・・・・・・・・・・　３５
⑹　過去５年間の時刻別火災発生件数　・・・・・・・・・・・・・・・　３６
⑺　火災発生時の気象状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７
３　救急業務統計
⑴　救急業務取扱状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８
⑵　傷病程度別搬送状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８
⑶　診療科目別搬送状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
⑷　搬送別状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
⑸　覚知別出場状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
⑹　居住地別搬送状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
⑺　救急救命処置実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
⑻　救命処置実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
⑼　月別救急出場状況及び搬送人員の状況　・・・・・・・・・・・・・　４０
⑽　曜日別救急出場状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１
⑾　現場到着所要時間別出場件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１
⑿　収容所要時間別搬送人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１
⒀　時間別出場状況（総件数及び急病件数）　・・・・・・・・・・・・　４２
⒁　市別搬送状況（搬送先）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２
⒂　救急出場件数の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

⑯ 過去５年間の救急出場状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４３
⑰ 年齢別搬送人員状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４４
⑱ 各比率 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４４
４ 救助業務統計
⑴ 救助出動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４５
⑵ 過去５年間の救助出動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４５
５ 応援協定等の締結状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４６

Ⅴ 機械・水利
１ 基準消防力と現有消防力との比較
⑴ 消防本部（署） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４７
⑵ 消防団 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４７
⑶ 消防職・団員と市民との割合 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ４７
２ 消防機械器具及び水利状況
⑴ 消防署の消防車両状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４８
⑵ 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況
ア 串木野地域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４９
イ 市来地域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０
⑶ 署・各分団ポンプ及びホース保有状況 ・・・・・・・・・・・・ ５１
⑷ 消防資機材の保有状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５２
⑸ 消火薬剤等の保有状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５３
⑹ 原子力防災資機材の保有状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ５３
⑺ 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む。）
ア 串木野地域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５４
イ 市来地域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５５
⑻ 消防無線の状況
ア 消防本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５６
イ 消防団 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５７

Ⅵ 気 象
１ 気象観測の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５８
２ 風向の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５９
３ 各地の降水量（防災テレメーターによる。）・・・・・・・・・・・ ５９

Ⅶ 付 録
１ 消防の沿革（串木野市消防本部） ・・・・・・・・・・・ ６０～６５
２ 歴代消防長（串木野市消防本部） ・・・・・・・・・・・・・・ ６６
３ 歴代消防団長
⑴ 旧串木野市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６７
⑵ 旧市来町 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６７
⑶ いちき串木野市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６７

Ⅰ　総　　括

面　　積	１１２．２９㎢
人　　口	２６，９８２人
世 帯 数	１３，１３９世帯

（令和３年４月１日現在）

1　いちき串木野市の位置・概要

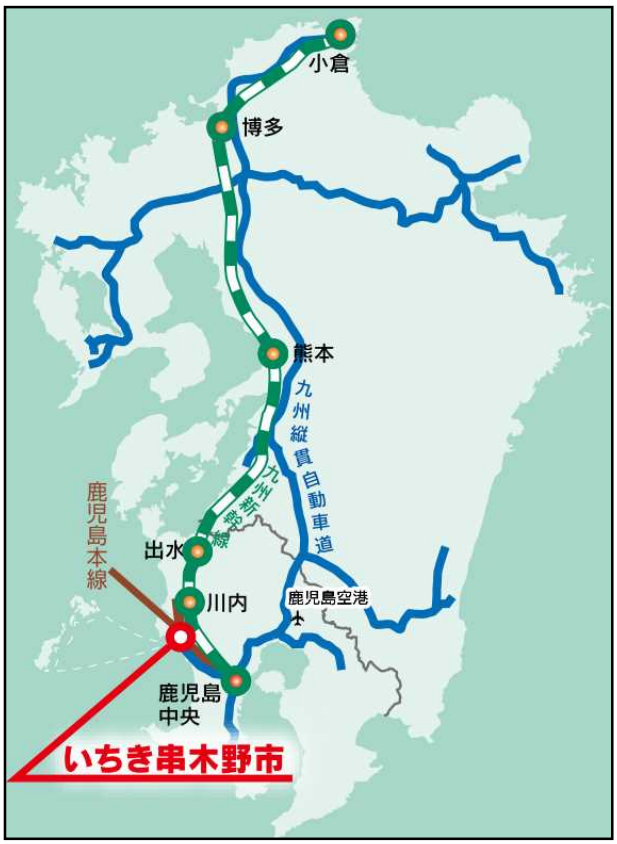
いちき串木野市は、薩摩半島の北西部にあり、西に白砂青松が続く吹上浜の海岸線を臨み、東に徐福伝説の霊峰冠嶽を控える、海・山・温泉などの自然と温暖な気候に恵まれた風光明媚な場所に位置し、また、３つの駅・２箇所の高速インターなど生活環境と利便性にも恵まれたまちである。

そして、縄文後期に人々が漁労や狩猟をして生活を営み、広い範囲にわたって人と物と情報の交流をしていたことを示す県指定文化財の市来貝塚や、徐福伝説とともに薩摩における山岳仏教の中心地として発展してきた冠嶽、さらに、江戸時代の陸上交通において九州筋の宿場として、また海上輸送の一中心地として物資等の集散地となり、宿場町と商業の地として栄える一方、金鉱業と遠洋まぐろ漁業のまちとして栄えてきたという、これまでに累々と積み重ねられた歴史と、そこから生まれた文化がある。

また、我がまちは、１８６５年薩摩藩英国留学生１９名が近代日本の礎を築くため翔ばたいた黎明の地でもあり、私たちもこの勇敢な先達の思いを胸に、今再びこの地から２１世紀の夢を発信しているところである。

◎ 消防本部の位置　東経１３０度１６分１７秒

北緯３１度４２分５０秒



2　市域の変遷

年　月　日	事　項	面　積（㎢）	人口			世帯数
			計	男	女	
明治 22. 4. 1	冠岳村、上名村、下名村、荒川村、羽島村の５ケ村が合併して串木野村となる。	79.60	－	－	－	
明治 22. 4. 1	湊村、大里村、川上村が合併して、西市来村となる。					
昭和 5. 4. 1	町制施行（西市来村⇒市来町）		8,290			
昭和 10. 4. 1	町制施行（串木野村⇒串木野町）	79.60	24,637	11,727	12,910	5,501
昭和 25.10. 1	市制施行（串木野町⇒串木野市）	79.60	33,884	16,483	17,401	7,182
平成 17.10.11	串木野市、市来町の１市１町で合併し、いちき串木野市となる。	112.02	33,087	15,516	17,571	13,601

3　消防の沿革

平成１７年１０月	○市町村合併（串木野市と市来町）により新市「いちき串木野市」誕生 ○いちき串木野市消防本部・消防署・いちき分遣所発足 ○初代消防長　野田　豊　就任 ○職員８名（日置地区消防組合職員３名・旧串木野市役所職員１名・旧市来町役場職員４名）が転任、実員４５名となる。いちき分遣所に１２名を配置する。 ○串木野市消防団と市来町消防団は、合併により１団を形成し、「いちき串木野市消防団」となる。（団長１名、副団長４名、１３分団、定数２９９名） ○救急３号車運用開始（国分地区消防組合より譲渡を受け）
平成１８年　３月	○梯子付消防自動車（日野）のオーバーホール （平成１７年度電源立地地域対策等交付金事業） ○中央・照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） （平成１７年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
４月	○第２代消防長　内屋照男　就任 ○消防職員５名採用（実員４８名）
１２月	○高規格救急車(日産)を購入し、１２月２３日運用開始（いちき分遣所配置換え） （平成１８年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成１９年　３月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野・ＣＤ－Ⅰ型）を購入（更新） （平成１８年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
１１月	○中央分団に小型ポンプ（Ｂ－３級）を購入（更新） （平成１９年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成２０年　３月	○川南分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） （平成１９年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○羽島分団に小型動力ポンプ付積載車（日産）を購入（更新） （平成１９年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
４月	○消防職員２名採用（消防吏員１名、その他職員１名）（実員４８名）
平成２１年　１月	○川上分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） （平成２０年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
４月	○救急救助係の救助業務を警防係に移管し救急係とする。

平成２２年　１月	○日本消防協会から防災活動車（日産）の寄贈を受け、消防署に配置
２月	○日置市消防本部から水槽付消防ポンプ自動車（日野）の譲渡を受け、消防署に配置
３月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
４月	○消防職員２名採用（実員４８名）※その他職員から消防吏員に転任（１名）
	○第３代消防長　池田　豊　就任
平成２３年　２月	○鹿児島県消防学校から救助工作車（三菱）の譲渡を受け、消防署に配置
	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野・水-Ⅱ型）を購入（更新）
	（平成２２年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
４月	○消防職員１名採用（実員４８名）
平成２４年　２月	○消防署に高規格救急車（日産）を購入（更新）
	（平成２３年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
４月	○第４代消防長　深山龍朗　就任
	○消防職員１名採用（実員４８名）
１２月	○荒川・冠岳分団に小型ポンプ搭載消防自動車（トヨタ）を購入（更新）
	（平成２４年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成２５年　１月	○消防署に高規格救急車（トヨタ）を購入（更新）
	（平成２４年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
４月	○消防職員１名市役所へ出向
	市役所職員１名消防本部に事務職員として出向（実員４８名）
１２月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
	（平成２５年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成２６年１１月	○梯子付消防自動車（日野）のオーバーホール
	（平成２６年度電源立地地域対策等交付金事業）
平成２７年　２月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新）
	（平成２６年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	○中央分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）を購入（更新）
	（平成２６年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
４月	○第５代消防長　原薗照明　就任
１２月	○化学消防自動車（三菱）のオーバーホール
	（平成２７年度電源立地地域対策交付金事業）
平成２８年　１月	○消防署に消防ポンプ自動車(日野)を購入（更新）
	（平成２７年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
２月	○照島分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）を購入（更新）
	（平成２７年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
３月	○消防救急デジタル無線の整備完了（施工業者：㈱九電工）
４月	○消防職員１名採用（実員４８名）
１１月	○消防署に救助工作車（日野）を購入（更新）
	（平成２８年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成２９年　４月	○第６代消防長　前屋満治　就任
	○消防職員２名採用（実員４８名）

平成２９年１２月	○中央仮設株式会社から広報車の寄贈を受け、消防署に配置
平成３０年　２月	○消防署に高規格救急車（トヨタ）を購入（更新）
	○消防署に消防指揮車（トヨタ）を購入（更新）
４月	○消防職員１名市役所へ出向
	○消防職員１名鹿児島県消防学校へ出向
	○消防職員２名採用（実員４８名）
平成３１年　３月	○消防団本部車（日産）を購入（更新）
	○日本消防協会より、優良消防団として竿頭綬を授与される。
４月	○第７代消防長　若松勝司　就任
	○消防職員１名採用（実員４７名）
令和　２年　４月	○消防職員３名採用（実員４８名）
１１月	○ドローン運用アドバイザー研修に消防職員１名を派遣
令和　３年　３月	○消防職員１名総務省消防庁からドローン運用アドバイザーに委嘱される
	○高機能救命ボート一式を総務省消防庁から緊急消防援助隊資機材として無償貸与を受ける
４月	○第８代消防長　平石　剛　就任
	○消防職員２名採用（実員４８名）

※串木野市消防本部・署の沿革については、Ⅶの付録に記載

４　歴代消防長

いちき串木野市消防本部

代	就　任　年　月	退　任　年　月	氏　　名
初　　代	平成１７年１０月	平成１８年　３月	野　田　　豊
第　２　代	平成１８年　４月	平成２２年　３月	内　屋　照　男
第　３　代	平成２２年　４月	平成２４年　３月	池　田　　豊
第　４　代	平成２４年　４月	平成２７年　３月	深　山　龍　朗
第　５　代	平成２７年　４月	平成２９年　３月	原　薗　照　明
第　６　代	平成２９年　４月	平成３１年　３月	前　屋　満　治
第　７　代	平成３１年　４月	令和３年　３月	若　松　勝　司
第　８　代	令和３年　４月	現　　在	平　石　　剛

※串木野市消防本部の歴代消防長については、Ⅶの付録に記載

Ⅱ　総　　務

常備消防　　１消防本部　１消防署　１分遣所

消防職員　　４８名（平均年齢　４４．０歳）

（令和３年４月１日現在）

消 防 団　１消防団　１２分団

消防団員　２５３名（平均年齢　４７．４歳）

（令和３年４月１日現在）

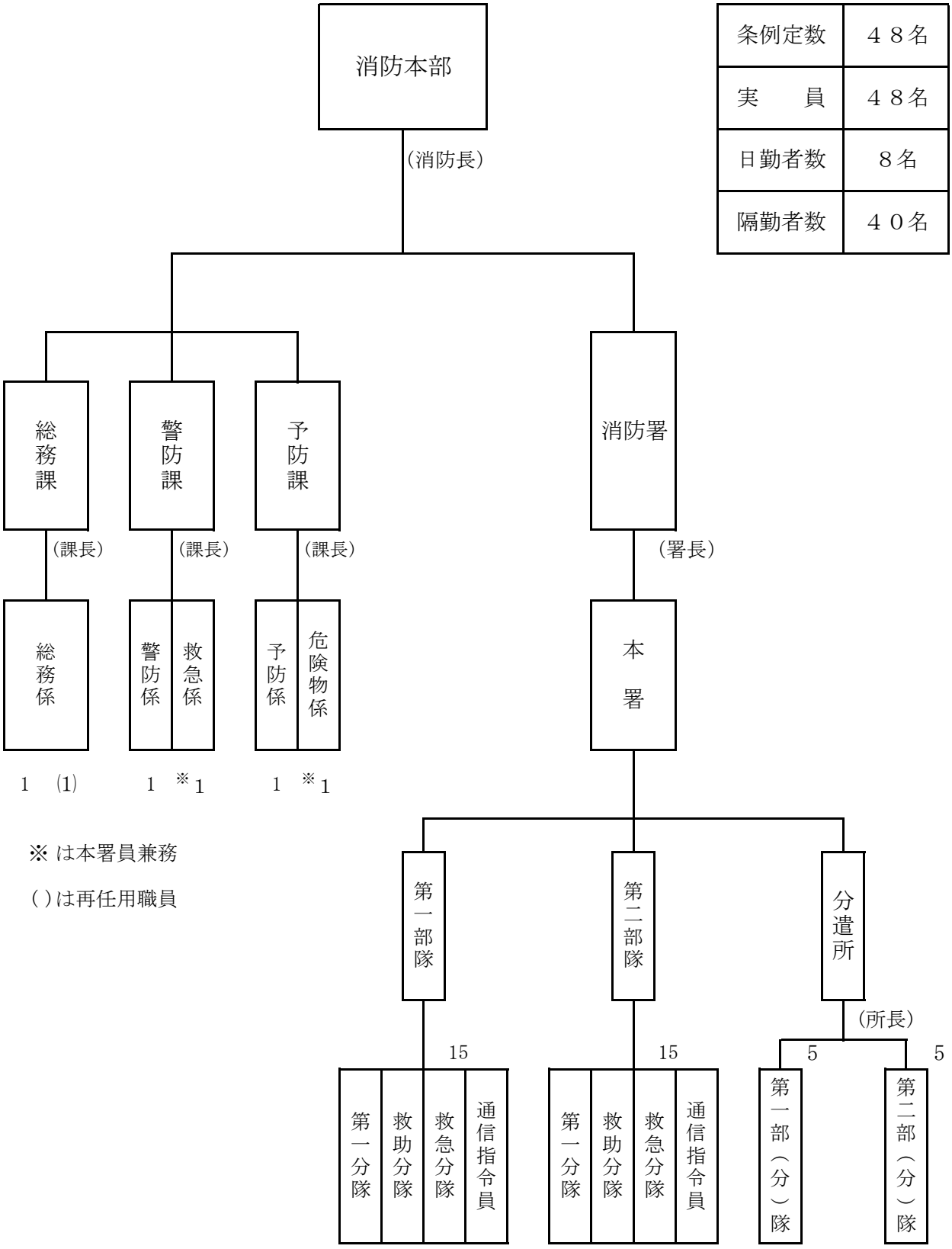
令和２年度消防予算　　５２６，８２４千円

（住民１人当り　　１９，２０８円）

いちき串木野市消防本部・消防署の組織

令和３月年４月１日現在

条例定数	４８名
実　　員	４８名
日勤者数	８名
隔勤者数	４０名



注1：分遣所長は、分遣所第１部隊長を兼務する。

注2：分遣所は、第１分隊と救急分隊の乗換運用とする。

注3：署員にあっては、本部員を兼務し、本部事務を補完する。

2　消防本部・消防署・分遣所の事務分掌

＜消防本部＞

【総務課】

○　総務係

（1）　職員の人事及び組織に関すること。
（2）　職員の服務に関すること。
（3）　職員の階級、任免、分限及び懲戒に関すること。
（4）　公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。
（5）　予算の編成及び執行に関すること。
（6）　物品の購入、保管及び処分に関すること。
（7）　職員及び団員の被服及び貸与品に関すること。
（8）　公有財産に関すること。
（9）　公印の保管に関すること。
(10)　文書の受発、編さん及び保存に関すること。
(11)　条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
(12)　職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関すること。
(13)　職員の教養、研修等の総括に関すること。
(14)　情報公開に関すること。
(15)　消防年報及び消防統計に関すること。
(16)　消防表彰に関すること。
(17)　職員及び団員の福利厚生に関すること。
(18)　会議及び儀式に関すること。
(19)　消防協会及び消防学校に関すること。
(20)　消防職員委員会に関すること。
(21)　消防手数料等の収納に関すること。
(22)　消防長会に関すること。
(23)　消防連合後援会に関すること。
(24)　消防団員互助会に関すること。
(25)　消防団事務に関すること。
(26)　他の係に属さないこと。

【予防課】

○　予防係

（1）　火災予防の企画に関すること。
（2）　火災予防査察に関すること。
（3）　建築同意事務に関すること。
（4）　消防用設備等に係る検査及び指導に関すること。
（5）　火災の調査、統計、報告及び証明に関すること。
（6）　防火管理者の指導及び育成に関すること。
（7）　防火管理協会及び幼少年婦人防火委員会に関すること。
（8）　その他火災予防に関すること。

○　危険物係

（1）　危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。
（2）　危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。
（3）　危険物施設の予防査察に関すること。
（4）　液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。
（5）　石油コンビナート等特別防災区域の指導に関すること。
（6）　火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）の規定に基づく煙火の消費に関すること。
（7）　危険物安全協会に関すること。
（8）　その他危険物に関すること。

【警防課】

○ 警防係

（1） 消防計画及び各種防災計画に関すること。
（2） 火災その他の災害等の警戒及び防御に関すること。
（3） 災害統計（火災、救急統計を除く。）及び報告に関すること。
（4） 消防応援協定に関すること。
（5） 職員及び団員の警防関係教育訓練に関すること。
（6） 消防施設、装備等の整備計画及び維持管理に関すること。
（7） 国庫補助金、石油交付金等に関すること。
（8） 気象、防災情報等の収集、伝達及び広報に関すること。
（9） 消防無線及び防災行政無線に関すること。
(10) 消防用燃料の受払いに関すること。
(11) 救助及び潜水業務に関すること。
(12) その他警防に関すること。

○ 救急係

（1） 救急業務に関すること。
（2） 救急の統計、報告及び証明に関すること。
（3） 職員の救急教育訓練に関すること。
（4） 救急資機材の維持管理に関すること。
（5） 応急手当の普及啓発に関すること。
（6） 医師会、医療機関等との連絡調整に関すること。
（7） その他救急に関すること。

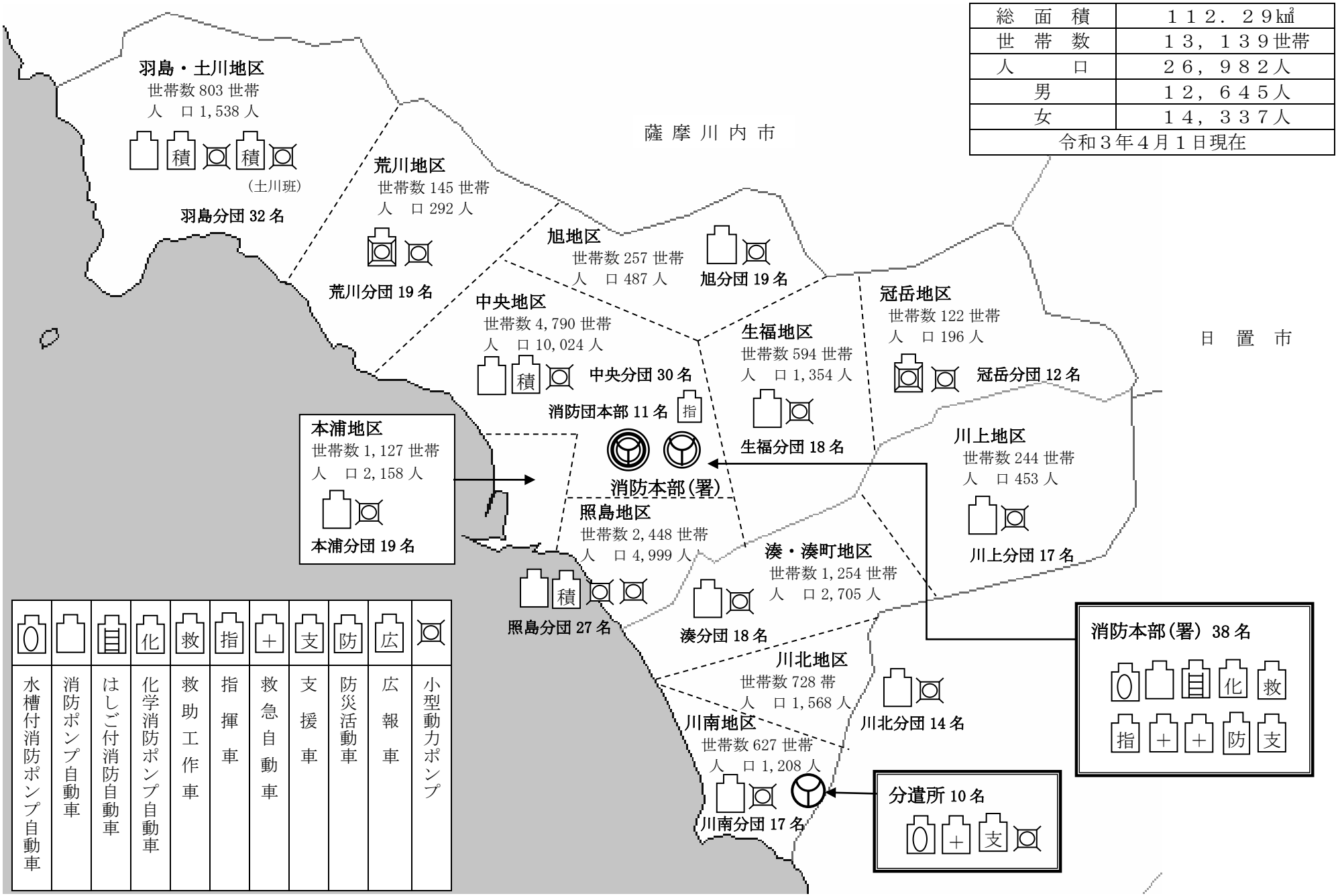
＜消防署＞

（1） 消防通信及び受付事務に関すること。
（2） 火災、救急、救助、風水害等の災害活動に関すること。
（3） 火災その他の災害の警戒に関すること。
（4） 署内の会議に関すること。
（5） 署長会に関すること。
（6） 防火広報、予防及び警防査察の実施に関すること。
（7） 署員及び団員の訓練に関すること。
（8） 消防水利及び地理調査に関すること。
（9） 防火対象物の訓練指導に関すること。
(10) 防火協力団体等の指導育成に関すること。
(11) 気象、防災情報及び火災警報等に関すること。
(12) 応急手当の普及に関すること。
(13) 空地及び空家の管理指導に関すること。
(14) 住宅等の火災予防に関すること。
(15) 消防資機材の出納及び保管に関すること。
(16) その他消防業務の実施に関すること。

【分遣所】

（1） 受付事務に関すること。
（2） 火災、救急、救助、風水害等の災害活動に関すること。
（3） 火災その他の災害の警戒に関すること。
（4） 防火広報、予防及び警防査察の実施に関すること。
（5） 消防水利及び地理調査に関すること。
（6） 防火対象物の訓練指導に関すること。
（7） 防火協力団体等の指導育成に関すること。
（8） 応急手当の普及に関すること。
（9） 空地及び空家の管理指導に関すること。
(10) 住宅等の火災予防に関すること。
(11) その他消防業務の実施に関すること。

3　いちき串木野市消防現勢分布図



4　消防庁舎等施設の状況

（1）消防本部（署）・分遣所

所　管	所　在　地	構　　造	敷地面積㎡	建　築　面　積　等　㎡	建　築　年　月
消防本部 消　防　署	昭和通 １３３番地１	鉄筋コンクリート造 ２階建	1,603.54	庁舎建築面積　618.80 庁舎延面積　1,020.76 訓練塔(5 階建)延　80.0	着工 S58. 7.27 竣工 S59. 3.20 増改築 H 4.10.22
い　ち　き 分　遣　所	大里 １１番地２	鉄筋コンクリート造 ２階建	3,160.00	庁舎建築面積　301.62 庁舎延面積　414.32 訓練塔　25.00	完成 S57.9.28 増改築完成 H11.3.3 完成 H14.11.20

（2）消 防 団

所　管	所　在　地	構　　造	敷地面積㎡	建　築　面　積　等　㎡	建　築　年　月
中央分団	旭町 １番地２	鉄筋コンクリート造 ２階建	227.02	建　築　面　積　69.08 延　　面　積　118.28	H 5. 3
本浦分団	西浜町 １番地２	鉄筋コンクリート造 ２階建	165.29	建　築　面　積　52.79 延　　面　積　86.00	H12. 3
照島分団	東島平町 ４１７番地１	鉄筋コンクリート造 ２階建	167.65	建　築　面　積　64.71 延　　面　積　120.08	H 8. 3
羽島分団	羽島 5,218 番地	鉄筋コンクリート造 ２階建	羽島コミュニティセンター敷地内	建　築　面　積　89.25 延　　面　積　120.74	H 9. 3
	(土川班) 羽島 9,675 番地	鉄筋コンクリート造 平屋建		建　築　面　積　40.80 床　　面　積　40.80	S54. 3
荒川分団	荒川 2,450 番地１	鉄筋コンクリート造 平屋建	小学校敷地内	建　築　面　積　72.00 床　　面　積　72.00	H 6. 3
旭　分　団	金山 14,103 番地 15	鉄骨造平屋建	旭コミュニティセンター敷地内	建　築　面　積　72.00 床　　面　積　72.00	H 7. 2
生福分団	生福 6,660 番１	鉄筋コンクリート造 ２階建	452.33	建　築　面　積　72.96 延　　面　積　130.08	H17.3
冠岳分団	冠岳 12,984 番地２	鉄筋コンクリート造 ２階建	231.38	建　築　面　積　37.50 延　　面　積　75.00	H 7. 3
資材倉庫	東島平町 26 番地 （旧照島分団車庫）	鉄骨スレート造 平屋建	129.80	建　築　面　積　62.65 延　　面　積　62.65	S 50.9
湊　分　団	湊町 １丁目 252 番地	鉄筋コンクリート造 ２階建	1,128.79 のうち一部	建　築　面　積　81.52 延　　面　積　136.80	S58.3
川南分団	大里 705 番地 11	鉄骨造Ｈ型 ２階建	230.57	建　築　面　積　53.38 延　　面　積　106.76	S61.12
川北分団	大里 5,631 番地	鉄骨造 ２階建	595.31	建　築　面　積　53.535 延　　面　積　107.07	H4.12
川上分団	川上 1,171 番地	鉄骨造Ｈ型 ２階建	1,505.02 のうち一部	建　築　面　積　48.19 延　　面　積　96.38	S62.11

5　令和２年度の主な行事

４月	７日	鹿児島県消防長会春季総会（書面会議）
	１０日	第１回消防幹部会議（消防本部会議室）
	３０日	北薩地区消防長連絡協議会総会（書面会議）
５月	８日	第７４回全国消防長会九州支部総会（書面会議）
	１０日	消防団員初任者・機関員研修会（消防本部会議室他）
	２１日	第２９回全国消防長会総務委員会（書面会議）
６月	２日	第７２回全国消防長会総会（書面会議）
９月	８日	消防職員委員会（消防本部会議室）
	９日	集団災害事故救急訓練（いちき分遣所訓練場）
１０月	２日	第２回消防幹部会議（防災センター会議室）
	４日	いちき串木野市女性消防団員視察研修（鹿児島県防災研修センター）
	８日	北薩地域救急業務高度化協議会（薩摩川内市消防局）
	２２日	鹿児島県消防長会秋季総会（オンライン会議）
	３０日	鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練（串木野国家石油備蓄基地）
１１月	９日	秋季火災予防運動（15 日まで）
	２５日	防災ヘリ合同訓練（冠岳　煙草神社北側山岳）
	２６日	れいめいトンネル合同訓練
	２７日	第３回消防幹部会議（防災センター会議室）
１２月	２８日	消防団年末夜警（市内全域：29 日まで）　※市長等巡視は中止
１月	１０日	令和３年消防出初式（アクアホール）
２月	５日	第４回消防幹部会議（防災センター会議室）
３月	１日	春季火災予防運動（７日まで）

【新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止となった主な行事】

いちき串木野市総合防災訓練（湊地区）

鹿児島県原子力防災訓練（羽島地区他）

鹿児島県消防救助技術指導会（県消防学校）

全国消防救助技術大会（北九州市）

いちき串木野市消防操法大会（いちき串木野市）

鹿児島県消防協会日置支部消防操法大会（いちき串木野市）

鹿児島県消防操法大会（日置市）

全国消防操法大会（千葉県市原市）

緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（熊本県荒尾市）

6 消防予算

（1）消防予算の内訳（当初予算）

（単位：千円）

款・項・目	節	令和元年度（平成31年度）	令和2年度	比較増減
9．消防費		991,142	526,824	△ 464,318
1．消防費		991,142	526,824	△ 464,318
1．常備消防費		410,057	417,071	7,014
	給料	187,113	190,357	3,244
	職員手当等	130,475	130,796	321
	共済費	65,064	68,723	3,659
	報償費	0	0	0
	旅費	1,266	1,203	△ 63
	需用費	12,078	11,975	△ 103
	役務費	4,178	4,251	73
	委託料	1,575	2,320	745
	使用料及び賃借料	502	493	△ 9
	原材料費	35	34	△ 1
	備品購入費	3,898	4,500	602
	負担金、補助及び交付金	3,731	1,753	△ 1,978
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公課費	732	665	△ 67
2．消防団費		58,825	63,618	4,793
	報酬	13,165	13,165	0
	共済費	6,370	6,370	0
	災害補償費	1,530	100	△ 1,430
	報償費	8,244	8,790	546
	旅費	21,013	26,506	5,493
	需用費	3,795	3,923	128
	役務費	974	948	△ 26
	使用料及び賃借料	73	323	250
	原材料費	10	9	△ 1
	備品購入費	2,427	2,369	△ 58
	負担金、補助及び交付金	843	844	1
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公課費	380	270	△ 110
3．消防施設費		15,180	21,088	5,908
	賃金	0	0	0
	需用費	3,465	1,601	△ 1,864
	役務費	17	17	0
	委託料	8,310	8,393	83
	使用料及び賃借料	4	4	0
	工事請負費	0	8,000	8,000
	原材料費	15	14	△ 1
	備品購入費	700	390	△ 310
	負担金、補助及び交付金	2,669	2,669	0
4．水防費		80	80	0
5．災害対策費		507,000	24,967	△ 482,033

（２）市総予算と消防予算（当初予算）

（単位：千円）

区分／年度別	市総予算	消防予算	割合（%）	消防予算内訳									
				常備消防費	割合（%）	消防団費	割合（%）	消防施設費	割合（%）	水防費	割合（%）	災害対策費	割合（%）
H28	15,140,000	645,032	4.3	541,559	84.0	73,984	11.5	2,823	0.4	94	0.01	26,572	4.1
H29	16,773,000	606,610	3.6	479,621	79.1	66,231	10.9	25,761	4.2	84	0.01	34,913	5.8
H30	15,850,000	554,135	3.5	417,261	75.3	73,460	13.3	11,253	2.0	82	0.01	52,079	9.4
R1	17,287,000	991,142	5.7	410,057	41.4	58,825	5.9	15,180	1.5	80	0.01	507,000	51.2
R2	16,010,000	526,824	3.3	417,071	79.2	63,618	12.1	21,088	4.0	80	0.02	24,967	4.7

（３）消防予算と人口・世帯数との比較（当初予算）

年度	消防予算(円)	住民一人当たりの消防費(円)	一世帯当たりの消防費(円)	人口(人)
				世帯数
H28	645,032,000	22,177	48,029	29,086
				13,430
H29	606,610,000	21,233	45,436	28,569
				13,351
H30	554,135,000	19,649	41,718	28,202
				13,283
R1	991,142,000	35,610	74,803	27,833
				13,250
R2	526,824,000	19,208	39,811	27,427
				13,233

※人口及び世帯数は、各年度の4月1日現在

7　人事・教養

（１）消防職員の配置状況

（Ｒ３．４．１現在）

区分／階級	実員	消防本部								消防署			分遣所		
		消防長	次長	課長	総務係	予防係	危険物係	救急係	警防係	署長	第一部隊	第二部隊	分遣所長	第一部隊	第二部隊
司令長	1	1													
司　令	10			3	1	1	※２		1	1	1	1	1		
司令補	16							※1			7	6		1	2
士　長	13				(1)						4	5		2	2
副士長	1											1			
消防士	7										3	2		1	1
その他	0														
合　計	48	1	0	3	1(1)	1	0	0	1	1	15	15	5		5

注　※は消防署員兼務、（ ）は再任用職員 、分遣所長は第１部隊を兼務、消防署員は本部員を兼務

（２）消防職員の階級別年齢構成

（Ｒ３．４．１現在）

年齢／階級	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	合計	平均年齢
司　令　長									1	1	59.0
司　　令								3	7	10	55.3
司　令　補							6	9	1	16	49.6
士　　長				4	1	5	2		1	13	39.9
副　士　長			1							1	25.0
消　防　士	1	4	2							7	22.6
そ　の　他											
合　　計	1	4	3	4	1	5	8	12	10	48	44.0

（３）消防職員の階級別勤続年数構成

（Ｒ３．４．１現在）

勤続年数／階級	５年未満	５年～９年	１０年～１４年	１５年～１９年	２０年～２４年	２５年～２９年	３０年～３４年	３５年以上	合計
司令長								1	1
司　令							7	3	１０
司令補				1	2	7	6		１６
士　長			3	6	1	3			１３
副士長	1								1
消防士	7								7
その他									
合　計	8	0	3	7	3	１０	１３	4	４８

（４）消防職員研修状況

（Ｒ３．４．１現在）

学科別／年度別		平成27年度以前の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
消防大学校	救助科	1						1
	警防科	1				※１		1
	火災調査講習会	2						2
	新任消防長・学校長科	1						1
消防学校	初任科	５０	1	2	2	1	2	５８
	救急Ⅰ課程	２１						２１
	救急Ⅱ課程	１４						１４
	救急標準課程	9						9
	救急科	２０		1	2	1	2	２６
	気管挿管講習	8						8
	救助科	２３	1	1	1	1	1	２８
	警防科	3						3
	予防科（課程）	7						7
	査察課程	1						1
	予防査察科（課程）	5		1	1	1	1	9
	火災調査科（課程）	１０	1	1	1	1	1	１５
	初級幹部科	6			1		1	8
	中級幹部科	5		1		1		7
	無線科	1						1
	職員指導員科	2						2
	梯子車研修	4						4
	気管挿管追加講習	8						8
	処置拡大追加講習		1	1	1	1		4
九州救急救命研修所	救急救命士研修	１４	1	1	1			１７
	薬剤投与追加講習	8						8
	指導救命士養成研修	1	1	1				3
	処置拡大追加講習		1	1	1			3
薬剤投与病院実習								
気管挿管病院実習		１１	1	1	1	1		１５
海洋研究開発機構	潜水業務管理研修	2						2
	潜水技術特別研修	1						1
	潜水技術指導研修	1						1
消防救急緊急自動車運転技能者研修		1						1
九州地区（警防/予防）実務研修		3	1	1	1	1		7
合計		２４４	9	１３	１３	9	8	２９６

※にあっては、鹿児島県消防学校へ出向中に派遣されたもの

8　消防団

（1）消防分団所轄区域、定員及び幹部名

（R３．４．１現在）

分団／区分	団本部	本部付団員	中央	本浦	照島	羽島	荒川	旭	生福	冠岳	湊	川南	川北	川上	合計
団　長	1														1
副団長	2														2
分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
副分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
部　長			4	2	3	4	2	2	3	2	2	2	2	2	30
班　長		2	6	4	5	6	4	4	5	4	4	4	4	4	56
団　員		6	18	11	17	20	11	11	8	4	10	9	6	9	140
実　員	3	8	30	19	27	32	19	19	18	12	18	17	14	17	253
定　員	3	10	35	21	27	32	20	20	25	20	22	21	21	20	297
所轄区域			串木野地区（本浦分団区域を除く。）	本浦地区	照島地区	羽島・土川地区	荒川地区	旭地区	生福地区	冠岳地区	湊・湊町地区	大里のうち川南地区	大里のうち川北地区	川上地区	
世帯数			4,790	1,127	2,448	803	145	257	594	122	1,254	627	728	244	13,139
人　口			10,024	2,158	4,999	1,538	292	487	1,354	196	2,705	1,208	1,568	453	26,982
団　長	副団長		分団長												
西村博孝	石川一仁 西ノ園隆	（女性消防団員）	西田憲一	白石英巳	石野潤一	福永茂幸	鮫島和光	竹之下直正	大六野弘行	瀬戸口健治	前田浩幸	内匠康義	冨永豊	鹿丸滋樹	

（２）消防団員の階級別勤続年数構成

（Ｒ３．４．１現在）

勤務年数／階級	５年未満	５年～９年	１０年～１４年	１５年～１９年	２０年～２４年	２５年～２９年	３０年～３４年	３５年以上	合計
団長						１			１
副団長								２	２
分団長		１				２	５	４	１２
副分団長				２	１	３	２	４	１２
部長			４	１	７	１０	７	１	３０
班長		８	１２	１３	１４	６	３		５６
団員	６３	４０	２３	７	６			１	１４０
合計	６３	４９	３９	２３	２８	２２	１７	１２	２５３

（３）消防団員の階級別年齢構成

（Ｒ３．４．１現在）

年齢／階級	２４歳以下	２５歳～２９歳	３０歳～３４歳	３５歳～３９歳	４０歳～４４歳	４５歳～４９歳	５０歳～５４歳	５５歳～５９歳	６０歳～６４歳	６５歳以上	合計	平均年齢
団長									１		１	62.0
副団長									１	１	２	65.5
分団長								３	４	５	１２	63.8
副分団長						１	１	２	３	５	１２	62.3
部長				１		５	４	６	８	６	３０	57.5
班長		１	２	５	９	１０	９	６	７	７	５６	50.9
団員	１０	１２	１５	２８	３０	１５	１４	７	６	３	１４０	40.9
合計	１０	１３	１７	３４	３９	３１	２８	２４	３０	２７	２５３	47.4

（４）消防団員出場状況

（Ｒ２年度）

出場区分＼分団別			団本部	女性団員	中央	本浦	照島	羽島	荒川	旭	生福	冠岳	湊	川南	川北	川上	合計
火災等災害	火災	回数	3	0	3	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	1	16
		人員	8	0	50	28	39	38	15	0	0	0	0	0	0	5	183
	風水害等の災害	回数	3	0	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	19
		人員	10	0	23	15	23	42	10	10	10	10	10	10	10	10	193
	小計	回数	6	0	5	5	5	4	2	1	1	1	1	1	1	2	35
		人員	18	0	73	43	62	80	25	10	10	10	10	10	10	15	376
演習訓練等	演習訓練	回数	5	1	16	17	16	15	17	17	16	15	17	16	16	16	200
		人員	19	1	131	107	131	151	110	112	124	89	115	108	101	109	1,408
	その他	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	回数	5	1	16	17	16	15	17	17	16	15	17	16	16	16	200
		人員	19	1	131	107	131	151	110	112	124	89	115	108	101	109	1,408
その他	広報指導	回数	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
		人員	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
	警防調査等	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別警戒	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	28
		人員	4	8	23	19	24	31	12	18	19	11	19	17	14	15	234
	捜索	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	回数	12	4	8	7	6	7	8	6	9	8	8	6	6	7	102
		人員	35	27	46	34	44	61	33	35	47	27	39	33	28	33	522
	小計	回数	14	16	10	9	8	9	10	8	11	10	10	8	8	9	140
		人員	39	57	69	53	68	92	45	53	66	38	58	50	42	48	778
合計		延回数	25	17	31	31	29	28	29	26	28	26	28	25	25	27	375
		延人員	76	58	273	203	261	323	180	175	200	137	183	168	153	172	2,562

（５）消防団員の報酬等

（単位：円）

区分＼階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬	年報酬	143,200	92,500	84,400	46,700	42,700	41,200	39,700
	技術報酬	消防ポンプ車等の機関員　年額15,000　小型動力ポンプ機関員　年額10,000						
費用弁償	災害・訓練等出動手当	１回　１人　５，１００						

9　いちき串木野市消防連合後援会

（Ｒ３．４．１現在）

後援会（部）名	会（部）長	役職名
中央分団後援会	久木山　純広	副会長
本浦分団後援会	小松　利美	
照島分団後援会	瀬戸口　修	
れいめい羽島協議会消防後援部	新村　政廣	
荒川地区まちづくり協議会消防後援部	中野　伸一	
旭地区まちづくり協議会消防後援部	平田　隆一	
生福分団後援会	木場　與一郎	会長
冠岳地区まちづくり協議会消防後援部	久木野　澄隆	監事
湊分団後援会	福ヶ野　和男	副会長
川南分団後援会	濵田　米夫	監事
川北分団後援会	藤田　和生	
川上分団後援会	田渕　明	

10　表　彰　（令和２年度）

(1) 消防庁長官永年勤続功労章

（本浦）白石　英巳

(2) 日本消防協会会長表彰

○　勤続章（30年以上）

（生福）大六野　弘行
（中央）宮之原　一己
（川上）内田　徹
（湊）後潟　克也

(3) 鹿児島県知事表彰

○　４０年勤続章

（旭）竹之下　直正
（本浦）白石　英巳

○　１０年勤続章

（本浦）栗元　一貴
（荒川）星原　俊悟
（中央）土川　大幸
（中央）入枝　紀仁
（照島）須納瀬　武典
（羽島）土川　一徳
（川上）吉留　廣樹

(4) 鹿児島県消防協会総裁表彰

○　功績章（20年以上）

（冠岳）宇都　博康
（旭）三浦　久士
（旭）宮田　淳
（湊）久保　公彦

○　精績章（15年以上）

（中央）木傷　努
（照島）網屋　心一
（羽島）中養母　孝行
（冠岳）川畑　寛城
（湊）白石　貴史

(5) 鹿児島県消防協会日置支部長表彰

○　１５年勤続章

（生福）井上　拓也
（中央）横路　心
（中央）田代　聡
（本浦）森田　裕司
（照島）西田　繁
（川北）武田　正人
（川上）逆瀬川　亨
（照島）小屋　友博

(6) いちき串木野市長表彰

○　１０年勤続章

（荒川）星原　俊悟
（川北）西久保　弘樹
（中央）久木山　竜也
（本浦）黒岩　雅之
（照島）須納瀬　武典
（羽島）栫　尚三
（旭）高原　和敏
（川南）本鍋田　和孝

(7) いちき串木野市長感謝状

○　２０年以上勤続団員の奥様

（旭）三浦　昌子
（旭）宮田　多香子

Ⅲ　予防・危険物

防火対象物数（法第１７条）・・・・・・　１，１２２

危険物施設数（法第１１条）・・・・・・　　１３１

1　防火対象物の状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいので、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務付けられている。　（R３．３．３１現在）

対象物別 ＼ 区分				対象物数（150㎡以上）	防火管理者が必要な対象物数（150㎡未満を含む）	定期点検が必要な対象物数
1　項	イ		劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2	2
	ロ		公会堂、集会場	２０	１９	１０
2　項	イ		キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			
	ロ		遊技場、ダンスホール	5	2	4
	ハ		性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ		カラオケボックス等	1	1	
3　項	イ		待合、料理店の類			
	ロ		飲食店	１８	２１	
4　項			百貨店、マーケット、展示場の類	４７	２８	6
5　項	イ		旅館、ホテル、宿泊所の類	5	3	1
	ロ		寄宿舎、下宿、共同住宅	１９３	１４	
6　項	イ	(1)	診療科名中に特定診療科目を有し、診療病床又は一般病床を有する病院類	2	2	
		(2)	診療科名中に特定診療科目を有し、四人以上の患者を入院させるための施設を有する病院類	7	5	
		(3)	(1)、(2)以外の病院又は入所施設を有する助産所	１０	6	
		(4)	患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	１１		
	ロ	(1)	老人短期入所施設、養護老人ホーム類	１６	１３	1
		(2)	救護施設			
		(3)	乳児院			
		(4)	障害児入所施設			
		(5)	障害者支援施設	3	3	
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター類	9	1	
		(2)	更生施設			
		(3)	保育所、幼保連携認定こども園類	１３	7	
		(4)	児童発達支援センター類	1	1	
		(5)	障害者支援施設	8	2	
	ニ		幼稚園、特別支援学校	１９	4	1
7　項			小・中・高・大学各種学校の類	８８	１６	
8　項			図書館、博物館、美術館の類	3	3	
9　項	イ		公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類			
	ロ		上記以外の公衆浴場	2	1	
10　項			車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	1		
11　項			神社、寺院、教会の類	7	4	
12　項	イ		工場、作業場	１７３	5	
	ロ		映画スタジオ、テレビスタジオ			
13　項	イ		自動車車庫、駐車場	２８		
	ロ		飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14　項			倉庫	１１７		
15　項			前各項に該当しない事業場	１７２	１９	
16　項	イ		特定防火対象物が存する複合用途対象物	６９	４５	6
	ロ		上記以外の複合用途対象物	７１	１０	
16の2　項			地下街			
16の3　項			準地下街			
17　項			重要文化財の類			
18　項			延長50m以上のアーケード	1		
合　計				1，１２２	２３７	３１

２　防火対象物階層別状況（４階以上・棟数）　　（Ｒ３．３．３１現在）

令別表第一区分		４階	５階	６階	１０階	合計
４項	百貨店、マーケット、展示場の類	1				1
		湊町 1				
５項	ロ　共同住宅・寄宿舎等	39	15			54
		上名 1	中央 1			
		大原 3	照島 13			
		中央 8	湊町 1			
		本浦 5				
		照島 9				
		湊町 4				
		湊 4				
		川北 5				
６項	イ　病　院・診療所等	3				3
		照島 2				
		湊町 1				
	ロ　主として要介護状態にある者又は重度障害等が入所する施設	1	1			2
		川南 1	中央 1			
７項	小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	4	2			6
		照島 4	照島 2			
12項	イ　工場又は作業場	1				1
		荒川 1				
14項	倉　庫	1				1
		本浦 1				
15項	前各項に該当しない事業場（事務所等）	4				4
		中央 1				
		本浦 2				
		羽島 1				
16項	イ　複合用途防火対象物（特定用途部分を含むもの）	9	1	1	1	12
		中央 9	中央 1	中央 1	中央 1	
	ロ　複合用途防火対象物（特定用途部分を含まないもの）	4				4
		中央 4				
合計		67	19	1	1	88
地区別	上名	1				1
	大原	3				3
	中央	22	3	1	1	27
	本浦	8				8
	照島	15	15			30
	羽島	1				1
	荒川	1				1
	川南	1				1
	川北	5				5
	湊	4				4
	湊町	6	1			7

3　建築同意事務等処理状況

（1） 建築同意状況

（Ｒ２年度）

対象物別 / 工事種別	三項ロ	四	五項イ	五項ロ	六項イ（二）	六項イ（四）	六項ロ（五）	七	一二項イ	一四	一五	一六項イ	専用住宅	その他	合計
新　築		1	3	1	1	1	1	1	2	7	2	1	5		26
増　築	2										2				4
修　繕															
その他															
合　計	2	1	3	1	1	1	1	1	2	7	4	1	5		30

（2） 専用住宅建築確認通知状況

（Ｒ２年度）

月　別	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	合　計
件　数	１０	7	7	１０	9	6	6	6	7	１４	4	6	９２

4　消防用設備等設置検査実施状況

（Ｒ２年度）

対象物別 / 工事種別	一項ロ	三項ロ	四	五項イ	五項ロ	六項イ（三）	六項イ（四）	六項ロ（一）	六項ロ（五）	六項ハ（一）	六項ニ	七	一二項イ	一四	一五	一六項イ	一六項ロ	合計
消火器		1	1		6		1	1	1			10	1	1	1	1	1	26
スプリンクラー設備									1									1
自動火災報知設備	1	1		19	1				1	1	1		3		1		1	30
消防機関へ通報する火災報知設備						1			1									2
非常警報器具																1		1
非常警報設備							1											1
誘導灯	1	1	1		1		1		1						2	1		9
誘導標識															1		1	2
	2	3	2	19	8	1	3	1	5	1	1	10	4	1	5	3	3	72

5　消防法関係届出状況

（Ｒ２年度）

対象物別＼区分			防火管理者選任届	防火管理者解任届	消防計画作成（変更）届	工事整備対象設備等着工届	消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届	消防用設備等点検結果報告
1項	イ		1	1	1	1		2
	ロ		2	2	5	1	2	20
2項	イ							
	ロ		4	4	5			5
	ハ							
	ニ							
3項	イ							
	ロ		2	2	2	1	3	23
4項			5	5	5	2	2	39
5項	イ		3	2	3	21	19	7
	ロ		4	4	4	1	8	48
6項	イ	(1)	1	1				2
		(2)			1	1		7
		(3)	1	1	2	1	1	11
		(4)			1		3	10
	ロ	(1)					1	15
		(2)						
		(3)						
		(4)						
		(5)	1	1	1	3	5	3
	ハ	(1)				1	1	7
		(2)						
		(3)						9
		(4)						1
		(5)						6
	ニ		1	1	2	1	1	6
7項			5	5	5		10	83
8項			1	1	2			2
9項	イ							
	ロ							1
10項								1
11項								3
12項	イ		1	1	1	2	4	88
	ロ							
13項	イ							2
	ロ							
14項							1	20
15項			7	7	10		5	37
16項	イ		4	4	7		2	45
	ロ				1	1	3	11
16の2項								
16の3項								
17項								
18項								
19項								
20項								
合計			43	42	58	37	71	514

６　火災予防条例関係届出状況

（Ｒ２年度）

種別＼月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
使用開始届け	2		2			2				2	3	3	14
ボイラー						2	1						3
乾燥設備			1										1
変電設備	1		1							1	1		4
発電設備			1							1		1	3
蓄電池設備							1						1
改修計画	11	4	6	5	4	7	11	6	7	6	8	7	82
緩和願い						1	1				2		4
火災と紛らわしい		2	1				2	2	8	3	2		20
煙火打上げ･仕掛け					1	1	1					1	4
水道断･減水			1				1		1				3
道路工事	8	7	9	14	7	12	13	12	14	8	3	2	109
露店等の開設										1		1	2
少危･指定可燃貯蔵取扱い	4	1	1		1		1	1				1	10
少危･指定可燃廃止届			1				1	4		2			8
	26	14	24	19	13	25	33	25	30	24	19	16	268

7　防火啓発状況

（Ｒ２年度）

方　　法	対　　象	回　　数	備　　考
広　　報　　車	市　内　全　域	２	春･秋火災予防運動期間中又は火災気象通報発表時等の防火上警戒を要する時に実施
防　災　行　政　無　線	市　内　全　域	１１	
広報くしきの(おしらせ版)	市　内　全　家　庭	５	
防火ポスター配布	市内各事業所等	１４	
避　難　訓　練　等　指　導	各公民館・各事業所等	２６８	各公民館、各事業所等からの依頼で実施
防　火　・　防　災　座　談　会	各公民館・各事業所等	２	各種会合時、又は公民館等からの依頼で実施

8　危険物施設の状況

（Ｒ３．３．３１現在）

施設区分／倍数別	製造所	貯蔵所							取扱所				合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
5倍以下		4	5		11		15					7	42
5 倍を越え　10 倍以下		1	2	1	5		1	1	5			8	24
10 倍を越え　50 倍以下	1	1	17		6				11			5	41
50 倍を越え 100 倍以下		1	2						5				8
100 倍を越え 150 倍以下									2				2
150 倍を越え 200 倍以下									3				3
200 倍を越え 1000 倍以下			2						1		1		4
1000 倍を越えるもの			6								1		7
合　　計	1	7	34	1	22		16	1	27		2	20	131

9　危険物関係許可・検査処理状況

（Ｒ２年度）

施設区分／種別	製造所	貯蔵所							取扱所				計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般	
設置許可			1				1						2
変更許可			1						2		1	1	5
完成検査			2				1		2		1	1	7
水圧・水張検査													
仮使用（貯蔵取扱）承認									2				2
岩盤タンク定期保安検査													
計			4				2		6		2	2	１６

10　危険物施設の立入検査状況

（Ｒ２年度）

施設別	実施施設数	立入検査延回数
製造所	1	1
屋内貯蔵所	7	7
屋外タンク貯蔵所	２７	２７
屋内タンク貯蔵所	1	1
地下タンク貯蔵所	１６	１６
簡易タンク貯蔵所		
移動タンク貯蔵所	１６	１６
屋外貯蔵所		
給油取扱所	２５	２５
販売取扱所		
移送取扱所	2	2
一般取扱所	１６	１６
計	１１１	１１１
少量危険物貯蔵取扱所	２９	２９

11　液化石油ガス等の保安指導状況

（1）届出の義務

消防法第９条の３では、火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の物質（毒物、劇物等）を政令で指定し、一定以上の貯蔵又は取扱いをする場合、消防長等に届け出ることを義務づけている。

（2）消防機関の対応

この届出に対し、消防機関は先ず、火災予防措置として査察指導を行い、火災発生の未然防止を図り、次に万一の火災発生時において、これらの物質から発生する特異かつ重大な危険が付近住民に波及することを防止し、かつ消火活動にあたる消防職員に対する危害を防止するための対策に役立てることを狙いとする。

（3）液化石油ガス施設等の現況

（Ｒ３．３．３１現在）

物　　質	数　　量	貯蔵・取扱施設数	備　　考
液化石油ガス	３００㎏以上	２３２	
圧縮アセチレンガス	４０㎏以上	2	
シアン化ナトリウム	３０㎏以上	1	毒物
硫　　酸	２００㎏以上	2	劇物
塩　　素	２００㎏以上	1	劇物

12　串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況

(1)　概　　要

位　　置：いちき串木野市西薩町１番地及び北部丘陵地
備　蓄　方　式：常圧貯蔵横穴水封固定水床式
面　　積：貯油施設地区２６ha、地上施設地区５ha
貯蔵許可数量：１,７４０,８７４．４ｋＬ（約１７５万ｋＬ）
類別・品名：第４類　第１石油類（原油）
地下貯油槽（岩盤タンクに係る屋外タンク貯蔵所）
形　　状：卵型（高さ　２２ｍ　×　幅　１８ｍ　×　長さ　５５５ｍ）１０基
水封トンネル：３本
地上荷役施設：操油設備･用役設備･電気計装設備･公害防止設備･安全防災設備･管理施設等
海上荷役設備：１０万ＤＷＴ級一点係留浮標式係留設備１基・海底原油配管２，３００ｍ
危険物の移送量：受け入れ時　　１２０，０００ｋＬ／日
　　払い出し時　　９６，０００ｋＬ／日
他の危険物施設：屋外タンク貯蔵所　７　　地下タンク貯蔵所　１
　　屋内貯蔵所　１　　一般取扱所　５　　移送取扱所　２
石油コンビナート等特別防災区域指定：平成４年８月２８日
串木野基地起工：昭和６２年３月３１日
備蓄原油総量：約１６８万ｋＬ

串木野国家石油備蓄基地全景

(2)　現　　況

ア　労働無災害時間記録を継続中
　令和３年３月３１日　３４７．７万時間

イ　令和２年度　消防立入検査
　下記の定期消防立入検査において書類審査、現地審査共に、問題のない事が確認されました。
　・特定防災区域内巡回パトロール及び危険物施設立入検査
　　(5/20 地上部,8/27 地下水位, 12/16 地下部, 2/25 書類)
　・岩盤関係定期消防立入検査　(5/20,8/27,12/16,2/25)

ウ　鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練の実施
　鹿児島県石油コンビナート等防災計画に基づく、「令和２年度 鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練」は、新型コロナウィルス感染防止の観点を考慮し、県・市協議の下、中止と決断しました。その代替として、１０月３０日（金）に日本地下石油備蓄株式会社との代替合同訓練を実施しました。

訓練参加者

いちき串木野市消防本部、日本地下石油備蓄株式会社

訓練想定

令和２年１０月３０日　１０時００分、排ガス処理設備運転中に市来断層帯を震源とする震度５強の地震が発生。津波の影響は無い。

・圧縮空気室近隣のＡ重油配管の折損あり。火災発生の可能性あり。
・倒壊した建物の下敷きになった作業員あり。
・訓練は、シナリオや事前情報の無いブラインド訓練。

訓練概要

本訓練は、日常起こりえる事象を想定し、自衛防災組織（防災本部と現場指揮所）の機能確認及び確実な関係機関との連携に重点を置き実施しました。

① 災害発生直後の人員把握、異常発見後の報告及び通報
② 自衛防災組織 防災本部と現場指揮所の指示・命令等の情報伝達系統及び機能の確認
③ 各班の役割と処置対応の確認（初期消火対応及び拡散防止処置、油回収等）
④ いちき串木野市消防本部入場後、情報の伝達・収集、行方不明者の救出・救急搬送
⑤ 消防ドローンによる不明者捜索及び通信網の確認

事業所員への訓練事前説明については、詳細内容やシナリオは作成せず概要のみとし、発災状況を「付与カード」にて逐次状況に変化を与え、各隊(班)の状況に応じた対応を確認しました。また、いちき串木野市消防本部においても事前情報の無いブラインド訓練として実施しました。新型コロナ感染対策が重要視されている中での、感染予防に配慮しながらの訓練でもありました。

訓練風景

漏洩箇所情報提供
(付与カード表示)

防災本部訓練状況

現場指揮所設置
(合同防災活動)

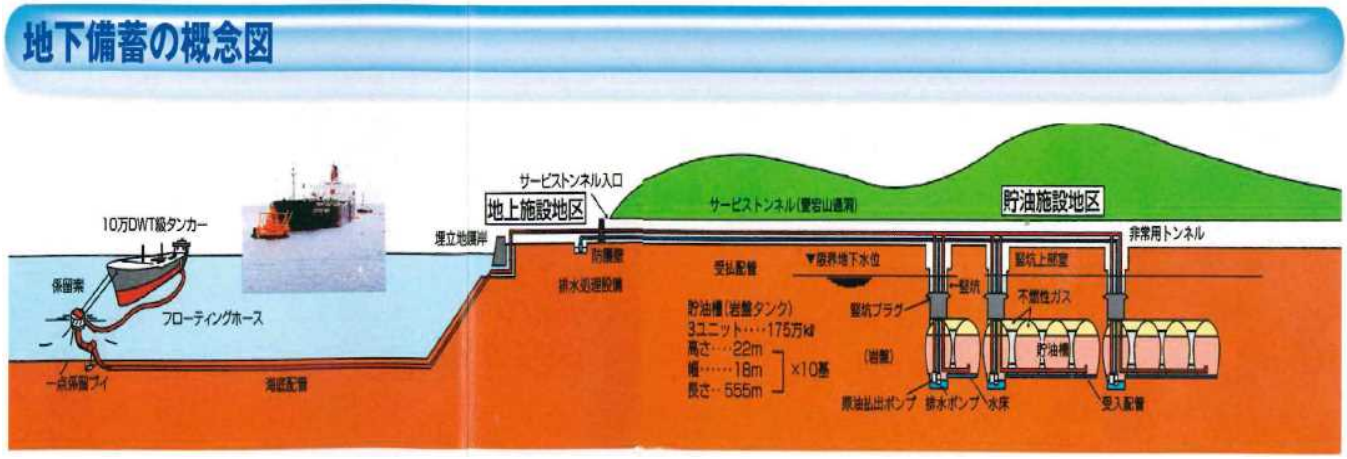
救出・救助訓練

救急隊による処置・搬送

現場指揮所　講評

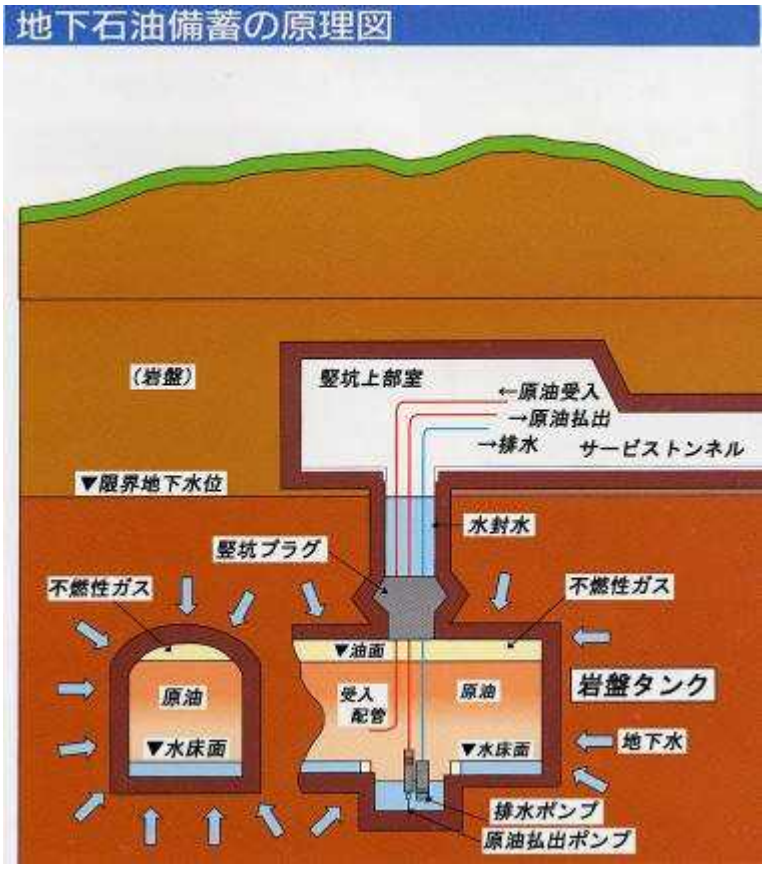
今回の訓練で抽出された課題や問題点を改善に繋げることとし、防災体制の更なる強化を図るべく、有事に備えた関係機関との連携訓練を積み重ねて参ります。

【地下岩盤タンクのしくみと水封式地下備蓄の原理】



水封式地下石油備蓄とは、地下水面下の岩盤内に空洞を掘ってそこに原油を貯蔵する方式です。自然の地下水に加え、一部水封トンネルから水を供給して空洞の周りの水圧を貯蔵された原油の圧力より高くすることによって、漏油、漏気を防止するシステムです。

岩盤タンクの水床の上に原油を貯めます。岩盤タンクにしみ出た地下水は、底水排水槽から排水ポンプにより排出されます。



13　消防協力団体の結成状況　（R３．４．１現在）

（1）いちき串木野市幼少年婦人防火委員会

◎ 結成年月日　　昭和５５年 ５月 １日

◎ 目 的

当委員会は、防火・防災に対する地域住民の理解と協力を得るため、その推進の中核となるクラブ等の結成、促進並びに育成強化を図ることを目的とする。

(委員名簿)

役　職　名	氏　　名	所　　属
会　　長	平　石　剛	いちき串木野市消防長
委員（監事）	西　村　博　孝	いちき串木野市消防団長
委　　員	塩　屋　か　よ　子	照島地区婦人防火クラブ会長
〃	岩　下　尚　功	羽島保育園幼年消防クラブ会長
〃	神　村　慎　二	神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	井　上　恒　夫	くしきの森のこども園幼年消防クラブ会長
〃	児　玉　　学	市来幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	島　津　知　道	串木野保育園幼年消防クラブ会長
事　務　局	福　園　忠　司	いちき串木野市消防本部　予防課予防係主査

（2）幼年消防クラブ

◎ 目 的

幼年期に消防の研修を行い、火に対する正しい認識を身につけさせ、園及び各家庭の火災の予防を図るとともに、将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

名　　称	結 成 年 月 日	人　　員
羽島保育園幼年消防クラブ	昭和６０年５月２０日	８２名
会 長 岩 下 尚 功		
市来幼稚園幼年消防クラブ	昭和６２年５月２３日	３７名
会 長 児 玉　　学		
神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ	平成２年７月１６日	１７９名
会 長 神 村 慎 二		
くしきの森のこども園幼年消防クラブ	平成６年２月１９日	１０８名
会 長 井 上 恒 夫		
串木野保育園幼年消防クラブ	平成２８年７月４日	６３名
会 長 島 津 知 道		

（3）婦人防火クラブ

◎ 目 的

家庭における火災の防止及び地域ぐるみの自主防災体制の確立が図られるよう初期消火等の訓練及び防火研修などを実施し、防火安全体制の確立を図ることを目的とする。

名　　称	結 成 年 月 日	人　　員
照島地区婦人防火クラブ	昭和５２年７月２３日	１，２００名
会 長 塩屋かよ子		

（４）防火管理協会

◎ 目的及び事業

災害予防対策の研究及び消防思想の普及発達に寄与することを目的とし、併せて会員相互の連絡親睦を厚くし、次の事業を行うものとする。

ア　消防思想の普及高揚及び災害発生時における会員相互の応援業務

イ　防火消防諸施設の視察研究

ウ　自衛消防の強化促進

エ　各種災害の予防対策の研究

オ　消火器の維持管理の指導及び検査

カ　優良事業所及び会員の表彰に関すること。

キ　会員の弔慰見舞に関すること。

ク　その他本会の目的達成上必要と認めた事業

名　　称	発　会　年　月　日	加入事業所数
いちき串木野市防火管理協会	平成１８年５月２４日	１２１
会　長　溜池一孝　　副会長　吉尾逸郎・長友克憲		

（５）危険物安全協会

◎ 目的及び事業

危険物保安対策の研究及び消防思想の普及宣伝並びに防火施設の拡充強化に寄与し、会員相互の融和親睦を図ることを目的として、次の事業を行うものとする。

ア　消防関係、諸法規の周知徹底に関すること。

イ　消防思想の普及宣伝に関すること。

ウ　危険物及び高圧ガスに対する防火及び消防諸施設の視察並びに研究に関すること。

エ　危険物取扱者の研修に関すること。

オ　優良事業所及び優良従業員の表彰に関すること。

カ　会員の弔慰に関すること。

キ　その他、本会の目的達成上必要と認めた事業

名　　称	発　会　年　月　日	加入事業所数
いちき串木野市危険物安全協会	平成１８年５月２６日	７４
会　長　有川　亨　　副会長　迫　直・中屋文雄・寺田徳一郎		

Ⅳ　火災・救急・救助

火災件数	・・・・・・・・・・	８件
損 害 額	・・・・・・・・・・	８，８４８千円
死　者	・・・・・・・・・・	０人
負 傷 者	・・・・・・・・・・	０人
救急件数	・・・・・・・・・・	１，２２８件
搬送人員	・・・・・・・・・・	１，１５１人
救助件数	・・・・・・・・・・	１６件
救助人員	・・・・・・・・・・	１０人

令和2年中の火災発生状況

火災番号	月／日 発生時分	発生場所	種別	原因	初期消火の有無	焼損棟数、り災世帯及び人員								建物焼損面積		林野その他	損害額	死者	負傷者
						全焼		半焼		部分焼		ぼや		床面積㎡	表面積㎡	焼損面積 a・㎡	(千円)		
						世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員						
1	2/4 11:10	上名4676 (休耕田)	その他	たき火	有											1,050㎡			
2	3/20 17:30	川上3440-59 (空地)	その他	たき火	有											135㎡			
3	4/27 14:45	東塩田町223 (駐車場)	車両	マッチ・ライター	有												140		
4	6/5 19:10	荒川4170	建物	不明・調査中	無	1	1			1				251	9		7,833		
5	8/3 17:20	平江12538-1 (駐車場)	車両	マッチ・ライター	有												25		
6	10/15 13:10	生福10385	その他	たき火	有											388㎡			
7	10/19 8:30	野元20911-2	建物	配線器具	無	1	1							55	11		850		
8	11/12 13:55	羽島1573	その他	たき火	有											663㎡			
合計		建物: 2 件 船舶: 件 林野: 件 その他: 4 件 車両: 2 件 合計: 8 件				2棟 住家 2 非住家 2	2	棟 住家 非住家		1 棟 住家 非住家 1		棟 住家 非住家		306㎡	20㎡	林野 a その他 2,236㎡	千円 8,848	名 0	名 0

※ ( )は、爆発による件数等の再掲を示す。

2 火災統計

（1）令和２年中の火災状況（いちき串木野市・鹿児島県・全国）

区　　分	いちき串木野市	鹿児島県（概数）	全 国（概数）
火災件数	8	666	34,602
建物	2	296	19,314
林野		36	1,235
車両	2	58	3,453
船舶		3	75
航空機			0
その他	4	273	10,525
焼損棟数	2	503	28,150
建物焼損床面積（㎡）	306	22,865	1,024,659
建物焼損表面積（㎡）	20	1,605	106,892
林野焼損面積（ａ）	0	314	44,772
り災世帯数	2	271	19,116
り災人員	2	507	37,640
死者	0	17	1,321
負傷者	0	72	5,511
損害額（千円）	8,848	852,336	68,071,010
建物	8,683	754,251	
林野		321	
車両	165	17,095	
船舶		60,760	
航空機			
その他		19,641	
爆発		268	

（2）過去５年間の年別火災概要

区分／年	火災件数						焼損棟数					焼損面積			死傷者		り災世帯数				り災人員	損害額（千円）
	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物床面積㎡	建物表面積㎡	林野a	死者	負傷者	全損	半損	小損	計		
平成２８年	5	1	1		1	8	6			3	9	1,802		2	2	2	4	1	2	7	11	215,655
平成２９年	5	1	1		5	12	4	1	1	2	8	281	2	0.4			2		4	6	11	11,701
平成３０年	4		1		3	8	2		1	1	4	76	5		2		1			1	2	9,210
平成３１年 令和元年	6		2		9	17	1		3	3	7	127	8		1	3			4	4	12	3,624
令和２年	2		2		4	8	2		1		3	306	20				2			2	2	8,848
合　計	22	2	7		22	53	15	1	6	9	31	2,592	35	2.4	5	5	9	1	10	20	38	249,038

（3）過去５年間の原因別火災発生件数

原因／年	たばこ	こんろ	マッチ・ライター	風呂かまど	炉	ストーブ	電気機器	電気装置	電灯・電話等配線	内燃機関	配線器具	火あそび	たき火	溶接機・切断機	灯火	火入れ	放火	放火の疑い	その他	交通機関内配線	不明・調査中	計
平成２８年		1										1				1			1		4	8
平成２９年						1						1	3	2		4			1			12
平成３０年				1							1		2						3		1	8
平成３１年 令和元年	1	1											5		1	4	1		3		1	17
令和２年			2								1		4								1	8
合　計	1	2	2	1		1					2	2	14	2	1	9	1		8		7	53

(4) 過去５年間の月別火災発生件数

年／月	平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和２年	計
１		１	１			２
２	２	１	１		１	５
３	２	３		１	１	７
４	１		１	１	１	４
５		１		４		５
６	１	１		１	１	４
７	１		２	１		４
８		２	１	３	１	７
９		１				１
１０		２	２	１	２	７
１１				４	１	５
１２	１			１		２
計	８	１２	８	１７	８	５３

(5) 過去５年間の曜日別火災発生件数

年／月	平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和2年	計
日	１	１	３	１		６
月	１	２		３	３	９
火	１				１	２
水		２	３	２		７
木	２	２	１	６	２	１３
金	３	１		２	２	８
土		４	１	３		８
不　明						０
計	８	１２	８	１７	８	５３

(6) 過去５年間の時刻別火災発生件数

年／時間	平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和２年	計
0 ～ 1			1			1
1 ～ 2						0
2 ～ 3						0
3 ～ 4						0
4 ～ 5		1				1
5 ～ 6				1		1
6 ～ 7	1					1
7 ～ 8	2		1			3
8 ～ 9					1	1
9 ～ 10		3		2		5
10 ～ 11			1	3		4
11 ～ 12		2	1		1	4
12 ～ 13		1	1	3		5
13 ～ 14			1	1	2	4
14 ～ 15		1		3	1	5
15 ～ 16	2	1	2	1		6
16 ～ 17	2			1		3
17 ～ 18		2		2	2	6
18 ～ 19	1	1				2
19 ～ 20					1	1
20 ～ 21						0
21 ～ 22						0
22 ～ 23						0
23 ～ 24						0
不　明						0
計	8	１２	8	１７	8	５３

(7) 火災発生時の気象状況　　（ Ｒ２年中 ）

気象状況＼月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	計
天気	快 晴											1		1
	晴			1	1		1		1		1			5
	曇		1								1			2
	雨													
	雪													
	不 明													
風速 m/s	無風状態													
	1～2		1											1
	2～3						1		1		1			3
	3～4			1								1		2
	4～5										1			1
	5～6				1									1
	6～7													
	7～8													
	8～9													
	9～10													
	不 明													
風向	北													
	北 北 東		1								1			2
	北 東													
	東 北 東													
	東													
	東 南 東													
	南 東						1							1
	南 南 東													
	南													
	南 南 西													
	南 西								1					1
	西 南 西											1		1
	西				1									1
	西 北 西													
	北 西			1							1			2
	北 北 西													
	不 明													
湿度 %	１０～２０													
	２０～３０													
	３０～４０													
	４０～５０										1			1
	５０～６０		1	1								1		3
	６０～７０				1									1
	７０～８０													
	８０～９０								1		1			2
	９０～１００						1							1
	不 明													

3　救急業務統計

（1）救急業務取扱状況

（R２年中）

		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
出場件数				6	66	11	8	167	2	11	627	330				1,228
不搬送件数				3	5		1	15	1	3	52					80
搬送人員				3	64	11	7	152	1	8	575	330				1,151
性別	男			2	36	9	4	64		4	309	171				599
	女			1	28	2	3	88	1	4	266	159				552

（2）傷病程度別搬送状況

（R２年中）

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死　亡				2			3		1	17	4	27
重　症				2	1		33		1	79	106	222
中等症				23	4	4	62		5	292	206	596
軽　症			3	37	6	3	54	1	1	187	14	306
その他												
計			3	64	11	7	152	1	8	575	330	1,151

（３）診療科目別搬送状況　　（Ｒ２年中）

診療科目	搬送人員
内科一般	27
循環器科	157
消化器科	103
呼吸器科	109
神経内科	24
小児科	14
新生物	26
外科一般	34
整形外科	177
形成外科	4
脳神経外科	178
脳卒中	107
頭部外傷	71
泌尿器科	42
皮膚科	1
熱傷	0
その他	1
産婦人科	7
耳鼻咽喉科	6
眼科	0
精神科	26
服毒・中毒	16
その他	200
合計	1,151

（４）搬送別状況　　（Ｒ２年中）

搬送種別	搬送人員
条理搬送	530
依頼搬送	621
合計	1,151

（５）覚知別出場状況　　（Ｒ２年中）

覚知別	出場件数
専用（１１９）	781
加入電話	435
庁内電話	1
駆け付け	3
現認	0
消防無線	4
その他	4
合計	1,228

（６）居住地別搬送状況　　（Ｒ２年中）

居住地別	搬送人員
市内居住者	994
市外居住者	157
その他	0
合計	1,151

（７）救急救命処置実施状況　　（Ｒ２年中）

救急救命処置	男性	女性
気道確保	3	3
除細動	2	0
輸液	3	0
薬剤投与	1	0
合計	9	3

（８）救命処置実施状況　　（Ｒ２年中）

救命処置内容		実施件数
気道確保（気管挿管等）		6
除細動		2
輸液		3
うち心停止前		0
薬剤投与	アドレナリン	1
	ブドウ糖	0
血糖測定		4
合計		16

（9）月別救急出場状況及び搬送人員の状況

（R２年中）

月別	事故種別／区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他		
1	件数			3	6			13		1	66	40				129	7
	人員			2	6			13		1	61	40				123	
2	件数				4		1	18		1	49	22				95	10
	人員				3		1	14			45	22				85	
3	件数			1	5			12		1	43	21				83	8
	人員				5			11		1	37	21				75	
4	件数				5	2		13			39	32				91	6
	人員				5	2		12			35	32				86	
5	件数				5	1		14		3	53	22				98	7
	人員				5	1		13		2	48	22				91	
6	件数				6	2	3	12		1	43	36				103	3
	人員				5	2	3	11		1	42	36				100	
7	件数				4	2	1	16	1	2	46	19				91	4
	人員				5	2		16		1	45	19				88	
8	件数			1	8		1	17			65	30				122	7
	人員			1	8		1	16			59	30				115	
9	件数				6	2	1	12			56	25				102	4
	人員				6	2	1	10			54	25				98	
10	件数			1	6		1	13	1	2	50	35				109	8
	人員				5		1	12	1	2	45	35				101	
11	件数				6	1		12			51	22				92	10
	人員				6	1		11			42	22				82	
12	件数				5	1		15			66	26				113	6
	人員				5	1		13			62	26				107	
合計	出場件数			6	66	11	8	167	2	11	627	330				1,228	80
	搬送人員			3	64	11	7	152	1	8	575	330				1,151	

(10) 曜日別救急出場状況

（Ｒ２年中）

事故種別 / 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
日			1	13	3	2	34			91	23				167
月				9	1	2	26		1	87	47				173
火			2	12	1		23		1	79	46				164
水				7	3		19		3	112	65				209
木			1	7	2	2	25		2	85	45				169
金				11	1		20	2	4	75	61				174
土			2	7		2	20			98	43				172
合　計			6	66	11	8	167	2	11	627	330				1,228

(11) 現場到着所要時間別出場件数

（Ｒ２年中）

現場到着 / 事故種別	３分未満	３分以上５分未満	５分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	計	現場到着平均所要時間（分）
急病	22	127	319	139	20	627	7.8
交通事故	4	8	39	14	1	66	7.5
一般負傷	3	31	90	40	3	167	7.6
その他	22	104	202	39	1	368	5.8
合計	51	270	650	232	25	1,228	7.2

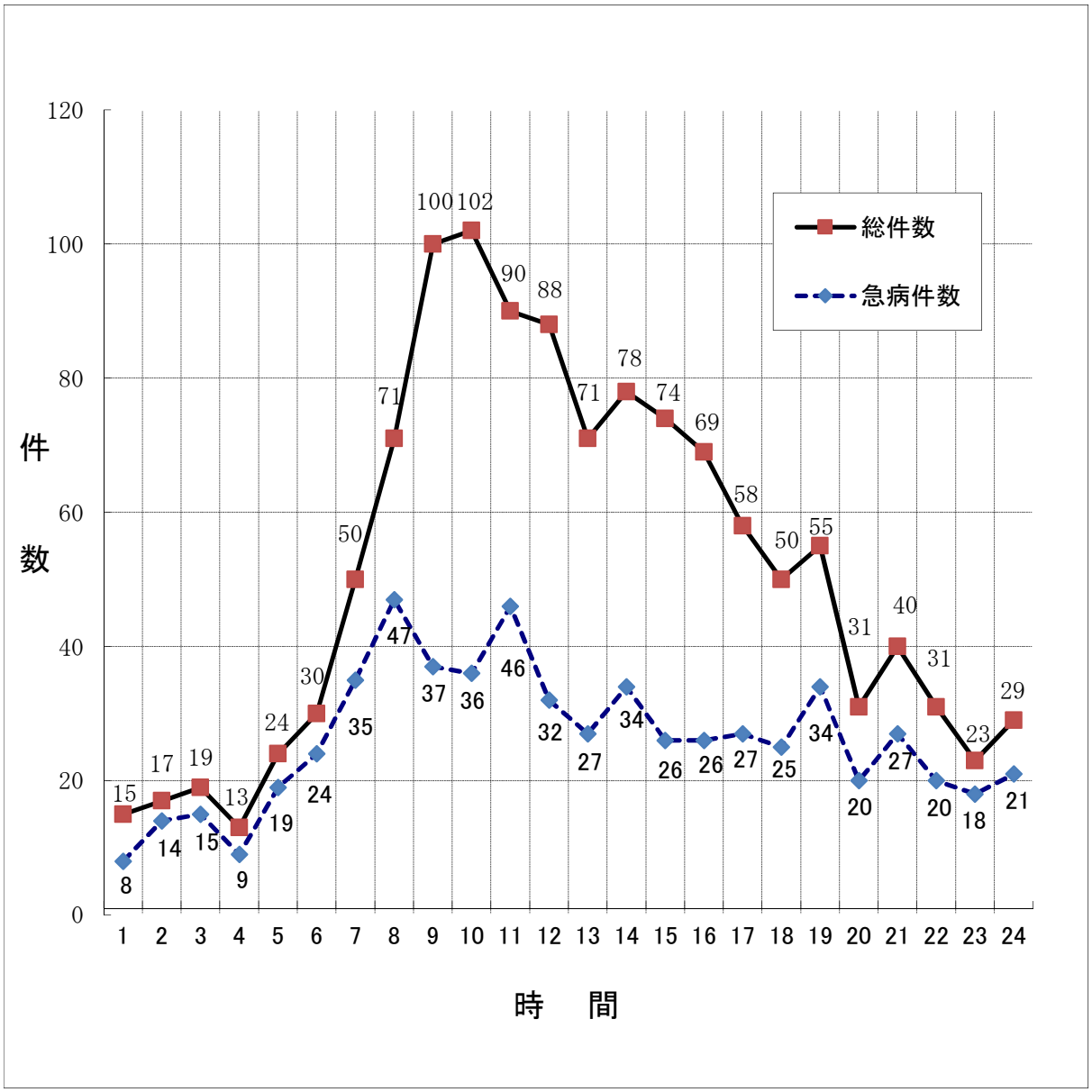
(12) 収容所要時間別搬送人員

（Ｒ２年中）

収容所要時間 / 事故種別	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上	計	収容平均所要時間（分）
急病	8	38	172	292	65	575	37.6
交通事故	2	1	28	20	13	64	40.6
一般負傷		11	43	82	16	152	38.6
その他	8	45	57	234	16	360	37.8
合計	18	95	300	628	110	1,151	38.0

(13) 時間別出場状況（総件数及び急病件数）

（Ｒ２年中）



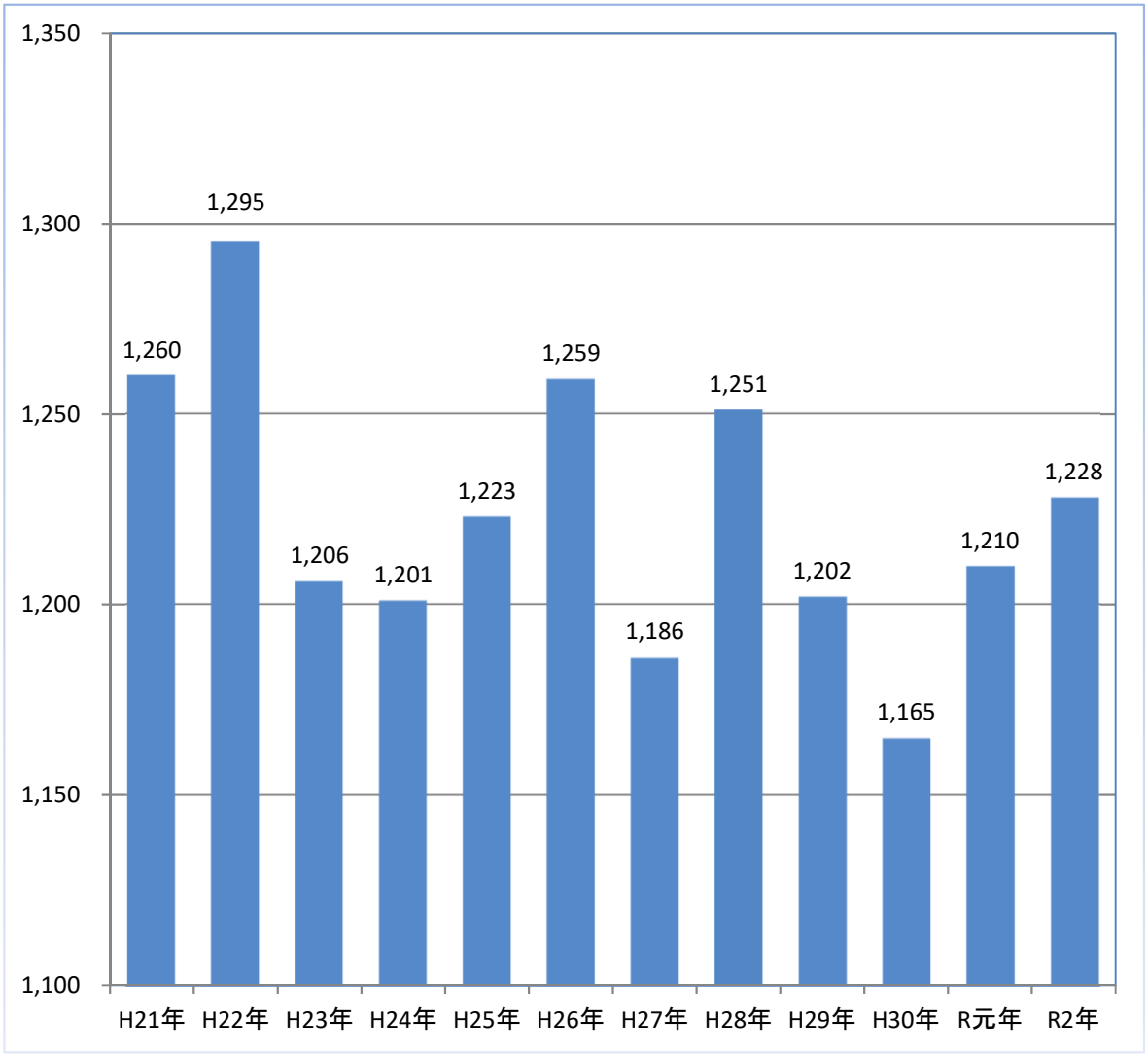
(14) 市別搬送状況（搬送先）

（Ｒ２年中）

搬送先 ／ 区分	いちき串木野市	鹿児島市	薩摩川内市	日置市	その他	計
搬送人員	662	248	151	89	1	1,151
比率（％）	57.52	21.55	13.12	7.73	0.09	

※注　比率にあっては、小数点以下第３位を四捨五入しているため、合計が１００にならないことがあります。

（15）救急出場件数の推移



（16）過去５年間の救急出場状況

事故種別／年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
平成28年			3	51	9	22	158	3	3	668	331			3	1,251
平成29年			4	45	17	20	155	1	7	672	281				1,202
平成30年			3	62	9	11	166	3	7	633	270			1	1,165
令和元年	2		1	60	17	17	171	2	8	605	326			1	1,210
令和２年			6	66	11	8	167	2	11	627	330				1,228

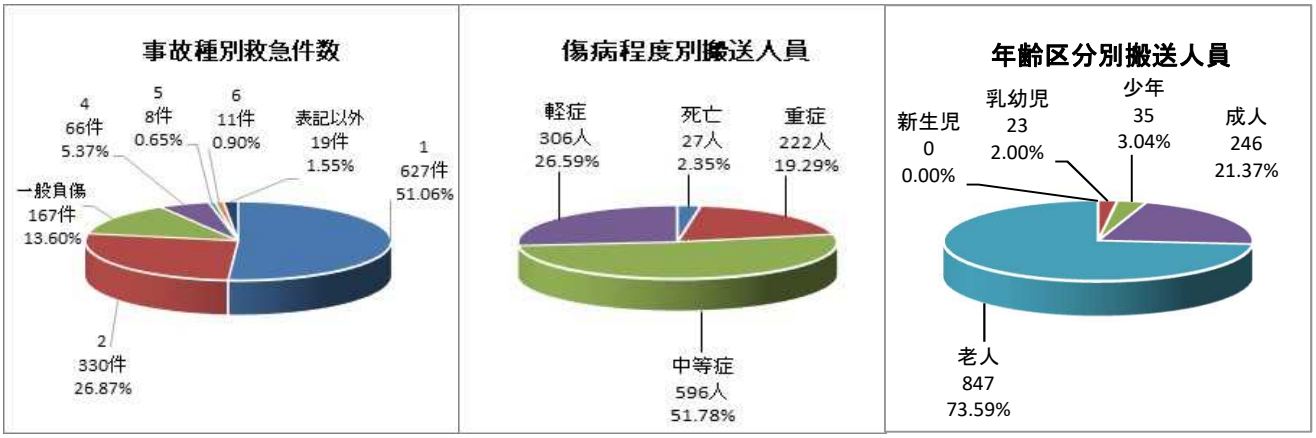
（17）年齢別搬送人員状況

（Ｒ２年中）

事故種別／年齢別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
0～9				5			6			12	3				26
10～19			1	2		5	1			29	1				39
20～29				5	2		1		1	9	1				19
30～39			1	4	1		3		1	21	6				37
40～49				4	2		5	1	1	32	9				54
50～59				3	1		6			42	16				68
60～69				9	3		11		3	75	47				148
70～79				19	2		26		2	139	76				264
80～89				10		2	67			142	123				344
90～			1	3			26			74	48				152
計			3	64	11	7	152	1	8	575	330				1,151

（18）各　比　率

（Ｒ２年中）



※注　比率にあっては、小数点以下第３位を四捨五入しているため、合計が１００にならないことがあります。

※　救急出場件数　1，228件
※　搬送人員　　1，151人

※ 年齢区分
新生児（生後２８日未満）
乳幼児（２８日以上７歳未）
少　年（７歳以上１８歳未）
成　人（１８歳以上６５歳満）
老　人（６５歳以上）

４　救助業務統計

（１）　救助出動状況

（Ｒ２年中）

	月　日	事故種別	災　害　発　生　場　所	出動車両	出動人員	活動車両	活動人員	救助人員
1	1/5	交通事故	外戸　重信川	2	5	2	5	3
2	1/12	水難事故	羽島　羽島崎神社付近海上	2	4	2	0	0
3	1/21	水難事故	長崎町南側堤防	2	4	2	4	1
4	3/1	交通事故	西回り自動車道市来ＩＣランプ	2	4	2	0	0
5	3/24	水難事故	長崎鼻白灯台付近	3	7	3	7	1
6	5/19	交通事故	羽島俣木造園北東側河川	3	6	3	6	1
7	6/21	その他の事故	湊町市来漁港防波堤	1	2	1	2	1
8	7/1	交通事故	旭町交差点	1	2	1	2	1
9	7/3	風水害等 自然災害	野元　オコン川	1	2	1	2	1
10	7/22	その他の事故	生福　堤宅南側畑	2	4	2	0	0
11	7/26	その他の事故	羽島　濵松宅	2	4	2	0	0
12	8/6	水難事故	大里崎野　市来海岸	3	7	3	7	1
13	8/8	交通事故	大里松原　旧田崎スタンド付近	2	4	2	0	0
14	9/3	交通事故	西回り自動車道串木野ＩＣ	2	5	2	0	0
15	10/9	交通事故	湊町２丁目国道３号線路上	3	5	3	0	0
16	10/10	水難事故	串木野漁港外港防波堤	2	4	2	0	0
合　　計				３３	６９	３３	３５	１０

（２）過去５年間の救助出動状況

区分＼年		平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和２年
出動件数		１４	8	１３	１７	１６
活動件数		１２	1	9	8	8
救助人員		１２	1	9	１２	１０
事故種別	火災					
	交通事故	2	5	4	9	7
	水難事故	4	2	3		5
	自然災害				4	1
	機械	1	1	1		
	建物	1			1	
	ガス・酸欠					
	爆発					
	その他	6		5	3	3

5　応援協定等の締結状況

（Ｒ３．４．１ 現在）

締結年月日	協定先名	協定の種類
S36.9.25	いちき串木野警察署	災害救助に関する協定
S45.6.15	串木野海上保安部	船舶火災の消火に関する業務協定 Ｈ６．８．１９　一部改正
H9.9.24	日本地下石油備蓄㈱串木野事業所	串木野市と日本地下石油備蓄㈱串木野事業所との応援協定
H10.4.1	薩摩川内市消防局	携帯電話等からの１１９番通報転送等に関する協定
H10.6.26	県内各市町村及び各消防本部	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定
H12.3.1	いちき串木野市医師会	救急救命士に対する医師の指示に関する協定
H17.11.18	薩摩川内市	消防及び救急業務相互応援協定
H17.12.12	日置市	消防・救急業務相互応援協定
H18.10.25	県内市町村及び消防の一部事務組合	鹿児島県消防相互応援協定
H19.3.1	国土交通省鹿児島国道事務所 県警察本部交通部高速道路交通警察隊 薩摩川内市消防局	南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する覚書
H19.3.2	鹿児島市 日置市 薩摩川内市	南九州西回り自動車道における消防相互応援協定 Ｈ２７．３．７　一部改正
H23.12.22	各市町村	鹿児島県ドクターヘリ運行事業における救急搬送に関する相互応援協定
H29.8.1	プリマハム株式会社 鹿児島工場	災害時における協力要請に関する覚書
H30.6.20	串木野地区生コンクリート協同組合	災害時における消防用水等の確保に関する協定
R2.6.1	いちき串木野市危険物安全協会	災害時における燃料の供給に関する協定書
R2.7.21	南薩砂利株式会社	災害時における物資供給及び応急対策に関する協定書

Ⅴ　機械・水利

消防車両	消防本部（署）・・・・・・・	１４台
	消防団・・・・・・・・・	１７台
消火栓	・・・・・・・・・・・・・・・	５４７基
防火水槽	・・・・・・・・・・・・・・・	３００基
消防無線	基地局・・・・・・・・・	１基
	固定局・・・・・・・・・	２基
	陸上移動局（卓上）・・・・・・	１基
	陸上移動局（可搬）・・・・・・	１基
	陸上移動局（車載）・・・・・・	３１基
	陸上移動局（携帯）・・・・・・	４２基

1　基準消防力と現有消防力との比較

（1）消防本部（署）

（R３．４．１現在）

区分 / 種別	基準	現有	充足率（%）	過・不足（▲）
署所の数	2	2	100	0
人員	100	49	49.0	▲ 51
消防ポンプ車	3	3	100	0
はしご車	1	1	100	0
化学車	1	1	100	0
救急車	2	2	100	0
救助工作車	1	1	100	0
非常用消防自動車	0	0	―	0
非常用救急自動車	1	1	100	0

（※人員現有は再任用１名含む）

（2）消防団

（R３．４．１現在）

区分 / 種別		基準	現有	充足率(%)	過・不足（▲）
市街地	動力消防ポンプ	9　口	消防ポンプ車　3　台　6 口 小型動力ポンプ　4　台　4 口	111	1　口
準市街地	動力消防ポンプ	19　口	消防ポンプ車　5　台　10 口 小型動力ポンプ　5　台　5 口	79	▲4　口
その他	動力消防ポンプ	11　口	消防ポンプ車　2　台　4 口 小型動力ポンプ　7　台　7 口	100	0　口
人員		297　人	254 人	85.5	▲ 43　人

（3）消防職・団員と市民との割合

（R３．４．１現在）

区分 / 種別	消防職員（１人当り）	消防団員（１人当り）
世帯　（ 13,139 ）	268.1	51.7
人口　（ 26,982 ）	550.7	106.2

２　消防機械器具及び水利状況

（１）消防署の消防車両状況

（Ｒ３．４．１現在）

種別	車種	車名	車両番号	登録年月	ポンプ性能 (ℓ/分)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備考
水槽付消防ポンプ自動車	日野	署タンク車	鹿児島831 ふ 119	2011年2月	A-2吉谷	6,400	6	10,120	735	227	290	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車 石油交付金事業
消防ポンプ自動車	日野	ポンプ１	鹿児島800 す 6923	2016年2月	A-2森田	4,000	6	6,850	584	192	290	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車
消防ポンプ自動車	日野	銀河号	鹿児島800 さ 9964	2007年3月	A-2森田	4,000	6	5,370	575	189	280	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車 石油交付金事業
梯子付消防自動車	日野	はしご車	鹿児島88 ゆ 754	1990年10月		7,410	6	12,660	995	249	340	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車
化学消防自動車	三菱	化学車	鹿児島88 ゆ 1343	1992年12月	A-2日機 1,600	16,030	7	14,925	830	249	296	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車
救助工作車	日野	救助工作車	鹿児島800 は 1867	2016年10月		6,400	6	11,510	789	232	315	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ車
指揮車	トヨタ	指揮車	鹿児島800 す 8433	2018年2月		2,690	8	2,920	538	188	250	ｶﾞｿﾘﾝ車 石油交付金事業
広報車	ニッサン	さのさ号	鹿児島501 も 1395	2017年12月		1,990	8	2,070	469	169	186	ｶﾞｿﾘﾝ車 寄贈車
高規格救急車	ニッサン	救急１号車	鹿児島800 す 3733	2012年2月		3,490	7	3,245	564	190	253	ﾊｲｵｸ車 石油交付金事業
高規格救急車	トヨタ	救急２号車	鹿児島800 す 4477	2013年1月		2,690	7	3,205	562	189	249	ｶﾞｿﾘﾝ車 石油交付金事業
高規格救急車	トヨタ	救急３号車	鹿児島800 す 8438	2018年2月		2,690	7	3,215	567	189	249	ｶﾞｿﾘﾝ車 石油交付金事業
資機材搬送用支援車	ダイハツ	支援１号車	鹿児島880 あ 2330	2021年3月		650	2	1,430	339	147	193	ｶﾞｿﾘﾝ車 原子力防災資機材 (県)貸与品
軽積載車	ニッサン	防災活動車	鹿児島880 あ 743	2010年1月		650	2(4)	1,460	339	147	195	ｶﾞｿﾘﾝ車 寄贈車
軽積載車	三菱	支援２号車	鹿児島80 あ 1277	2000年9月	B-3小型動力ポンプを積載	650	2	1,260	339	147	197	ｶﾞｿﾘﾝ車

（２）消防団の消防車両及び小型ポンプの状況

ア　串木野地域

（Ｒ３．４．１現在）

分団名	種別	車種	車名	車両番号	登録年月	ポンプ性能 (ℓ/分)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備考
団本部	指揮連絡車	ニッサン	団本部車	鹿児島８３２ぬ １１９	2019年3月		2,480	10	2,480	469	169	210	ガソリン車 石油交付金事業
中央	消防ポンプ自動車	日野	たつまき号	鹿児島800 さ 8954	2006年3月	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	571	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	すいせい号	鹿児島800 す 6060	2015年2月		2,980	8	3,010	502	170	233	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2015年2月	B-3トーハツ 1,420	617						石油交付金事業
本浦	消防ポンプ自動車	トヨタ	あさかぜ号	鹿児島800 す6059	2015年2月	A-2 日機 2,300	4,000	10	4,060	573	188	258	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3ﾗﾋﾞｯﾄ 1,400	635						石油交付金事業
照島	消防ポンプ自動車	日野	照月号	鹿児島800 さ 8956	2006年3月	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	567	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	くろせ号	鹿児島800 す 6915	2016年2月		2,980	8	3,010	502	171	233	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				2016年2月	B-3トーハツ 1,400	617						石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3ﾗﾋﾞｯﾄ 1,400	635						石油交付金事業
羽島	消防ポンプ自動車	日野	さちかぜ号	鹿児島800 す 5209	2013年12月	A-2 モリタ	4,009	10	4,700	559	188	274	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	三菱	積載車	鹿児島800 さ 2254	2000年10月		1,990	9	2,735	499	169	242	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2000年10月	B-3トーハツ 1,420	617						石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	あこう号	鹿児島800 す 745	2008年2月		1,990	9	2,975	497	178	232	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2008年2月	B-3トーハツ 1,130	526						石油交付金事業
荒川	小型ポンプ搭載消防自動車	トヨタ	荒星号	鹿児島800 す 4427	2012年12月	B-2トーハツ 1,000	4,000	8	3,740	511	169	266	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2001年12月	B-3ｼﾊﾞｳﾗ 1,440	618						石油交付金事業
旭	消防ポンプ自動車	トヨタ	こがね号	鹿児島800 す 2272	2010年3月	A-2 日機	4,000	10	4,500	573	188	242	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2001年12月	B-3ｼﾊﾞｳﾗ 1,440	618						石油交付金事業
生福	消防ポンプ自動車	三菱	生龍号	鹿児島88 す 7166	1996年11月	A-2 日機 2,370	4,560	10	4,220	524	189	241	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3ﾗﾋﾞｯﾄ 1,400	635						石油交付金事業
冠岳	小型ポンプ搭載消防自動車	トヨタ	やまびこ号	鹿児島800 す 4428	2012年12月	B-2トーハツ 1,000	4,000	10	4,270	561	188	268	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2001年12月	B-3ｼﾊﾞｳﾗ 1,440	618						石油交付金事業

イ　市来地域

（Ｒ３．４．１現在）

分団名	種別	車種	車名	車両番号	登録年月	ポンプ性能(ℓ/分)	排気量(cc)	定員(人)	総重量(kg)	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	備考
湊	消防ポンプ自動車	いすず	飛竜	鹿児島88 す　8413	1997年11月	A-２　森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3　ﾄｰﾊﾂ 1420	617						石油交付金事業
川南	消防ポンプ自動車	日　野	蒼竜	鹿児島800 す 779	2008年2月	A-２ GMいちはら	4,000	10	4,560	572	188	256	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2003年10月	B-3　ﾄｰﾊﾂ 1,440	617						石油交付金事業
川北	消防ポンプ自動車	いすず	海竜	鹿児島88 す　8414	1997年11月	A-２　森田	4,570	7	3,945	549	190	247	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3　ﾄｰﾊﾂ 1420	617						石油交付金事業
川上	消防ポンプ自動車	日　野	昇竜	鹿児島800 す　1382	2009年1月	A-２　吉谷	4,000	10	4,730	588	188	252	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2007年11月	B-3　ﾄｰﾊﾂ 1,130	526						石油交付金事業

（3）署・各分団のホース保有状況

（Ｒ３．４．１現在）

7 署･団	ホース本数			
	４０㎜	５０㎜	６５㎜	小計
消防署	27	64	99	190
分遣所	7	49	70	126
中　央	2	18	76	96
本　浦	2	20	66	88
照　島	2	20	68	90
羽　島	6	20	96	122
羽　島 (土川班)				
荒　川	2	15	49	66
旭	2	5	66	73
生　福	2	14	65	81
冠　岳	2	13	58	73
湊		10	66	76
川　南		10	66	76
川　北		10	62	72
川　上		10	64	74
合 計	54	278	971	1,303

（4）消防資機材の保有状況

（Ｒ３．４．１　現在）

種別＼車両等別	署タンク車	署ポンプ2	はしご車	化学車	救助工作車	指揮車	器材庫他	いちき分遣所	合計
かぎ付はしご	1	1			1			2	5
三連はしご(二連)	1	(1)			1			2	4(1)
金属製折畳みはしご							1		1
空気式救助マット							1		1
救命索発射銃					1				1
サバイバースリング					2				2
各種救助用縛帯			3		1			3	7
ポートパワー							1		1
可搬式ウインチ					1		1	1	3
エンジンカッター	1				1			1	3
溶断器					1				1
チェーンソー					1		7	2	10
鉄線カッター	1	1	1		2		1	1	7
万能斧(ベンケイ)					3			2	5
鉄筋カッター					1				1
可燃性ガス・酸素測定器					2			2	4
空気呼吸器	5	4	4	3	4			5	25
防毒マスク							5		5
耐熱服				4					4
潜水資器材一式							6		6
救命胴衣	6				4		34	33	77
救命浮環	1				1		7	2	11
各種救助用担架	2		1		4		1	3	11
携帯拡声器	1	1		1	3	2		2	10
油圧救助器具一式					4			1	5
マット型空気ジャッキ一式					2				2
レシプロソー					1			1	2
車両固定器具					1				1
マンホール救助器具					1				1
空気鋸			1		1			1	3
野営用エアーテント一式							1		1
無人航空機一式						1			1
簡易画像探索機					1				1
熱画像直視装置					1				1
ハンマードリル			1		1				2

種別＼車両等別	署タンク車	署ポンプ2	はしご車	化学車	救助工作車	指揮車	資材庫他	いちき分遣所	合計
送排風機			1		2				3
ジェットシューター（ウオーターチャージャー）	7(1)							2	9 (1)
東消式簡易発泡器				1			1		2
耐電手袋					4	2			6
ストライカー（破壊器具）					1			1	2
発電機	1		1		2		3	2	9
投光器	1		3		4		2	3	13
ラインプロポーショナー				1			1	1	3
ｵｲﾙﾌｪﾝｽ(A型)140m							1		1
非接触温度計（プロサーモ）					1				1
ウエアラブルカメラ	1				1	1		1	4
デジタル風位風速計						1			1
【車載固定型資機材】									
車載伸縮式照明装置	1				1				2
車載固定型ウインチ					1				1
車載クレーン					1				1
オートハイドレックス					1				1
【緊急消防援助隊用】									
寝袋								10	10
テント一式								1	1
簡易ベッド								7	7
折畳み椅子（テーブル）								5(2)	5(2)
高機能救命ボート一式								1	1
【水防資器材等】									
スコップ							20	19	39
ツルハシ							7		7
鋸							5	2	7
斧							6	1	7
鎌							3	2	5
掛矢							8	1	9
ナタ							8	3	11
土のう							1460	650	2110
ビニールシート							8	7	15
クイ（鉄・木製）							139	4	143
造林鎌・鉈							8	4	12

（5）消火薬剤等の保有状況

（R３．４．１ 現在）

合成界面活性剤（プロフォーム）		１，０４０ ℓ
フォレックスパン S		１６０ ℓ
たんぱく泡（エアフォーム３％・６％）		２，１６０ ℓ
油吸着・吸収材等	吸着マット	８７ 枚
	吸着（収）材	３０ kg
流出油処理剤		３６ ℓ
オイルフェンス（S０－２００E）		１４０ m

（6）原子力防災資機材の保有状況

（R３．４．１ 現在）

空気呼吸器（県貸与）		２１ 基
ポケット線量計	アラーム機能なし	６６ 個
	アラーム機能あり	５１ 個
防護マスク		１３５ 個（ﾌｨﾙﾀｰ681個）
防護服	アノラック型	４１６ 着
	タイベック型	４０５ 着
防護靴		１８４ 足
防護靴（オーバーシューズ）		４９６ 足
防護手袋	ゴム製	５００ 双
	綿製	４９２ 双
作業帽		８０１ 個
携帯用拡声器		１５ 基
サーベイメータ（ポケット型含む。）		６ 基
イージーアップテント		３ 張
資機材運搬用車両		１ 台
脚付き両開きボード		１ 台
資機材保管庫		３ 個
マルチプロジェクタ		１ 台
スクリーン		１ 台
エアーテント		１ 式
化学防護服		５ 着
可搬型衛星携帯電話		１ 式
簡易放送用設備		１ 式
空気呼吸器拡声器（充電器含む。）		１８ 基
デジタルカメラ		２ 基
ワイヤレスメガホン		１ 式
エアー膨張式投光装置		１ 式
空気ボンベ用空気圧縮機		１ 基

（７） 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む。）

ア 串木野地域

（Ｒ３．４．１現在）

水利の別 ＼ 地区別	配管及び水量	中央	本浦	照島	羽島	荒川	旭	生福	冠岳	合計
消火栓（公設）	350㎜	1		1						2
	300㎜	7		2						9
	250㎜	8	1	2						11
	200㎜	8	9	4	1				4	26
	150㎜	37	18	20	8	4		6	3	96
	100㎜	57	9	21	11	3	4	15	2	122
	75㎜	27	7	15	19	5	11	5	3	92
小計 A		145	44	65	39	12	15	26	12	358
防火水槽（公設）	40㎥以上	18	4	16	7	7	3	9	5	69
	30㎥以上40㎥未満	43	6	18	17	5	10	14	6	119
	20㎥以上30㎥未満	2	1	3	1		2		3	12
	20㎥未満	5	1		2					8
（私設）	40㎥以上	2		1						3
小計 B		70	12	38	27	12	15	23	14	211
プール	40㎥以上	3		3	2	1	1	1	1	12
河川	常時取水可能	7	1	3	2	3	1	4	2	23
海水	常時取水可能		4	1	1					6
小計 C		10	5	7	5	4	2	5	3	41
総計 A＋B＋C		225	61	110	71	28	32	54	29	610

イ　市来地域

（Ｒ３．４．１現在）

水利の別 ＼ 地区別 ／ 配管及び水量		湊	川南	川北	川上	合計
消火栓（公設）	200㎜	15				15
	150㎜	6	8	5		19
	125㎜	1				1
	100㎜	21	14	19	10	64
	75㎜	19	15	11	15	60
	65㎜以下	3	5	14	8	30
小計　A		65	42	49	33	189
防火水槽（公設）	40㎥以上	22	15	19	23	79
	30㎥以上40㎥未満	1	1	1		3
	20㎥以上30㎥未満			5		5
	20㎥未満					
（私設）	40㎥以上			2		2
小計　B		23	16	27	23	89
プール	40㎥以上	1	2		1	4
河川	常時取水可能	5		3	2	10
海水	常時取水可能					
小計　C		6	2	3	3	14
総計　A＋B＋C		94	60	79	59	292

(8) 消防無線の状況

ア　消防本部　　（Ｒ３．４．１現在）

局別	数	電力	周波数	呼称	設置場所	納品年月	経過年数	会社名	再免年月
基地局	1	20W	① 活動波１ ② 活動波２	いくしょうほんぶ	(送受信所) 長城中継所 (通信所) 消防本部	H28．3	５年	富士通ゼネラル	Ｒ７．５
固定局	2	500mW	7.5GHz帯周波数(長城中継所・消防本部間通信確保用)	いくしょうちょうじょう	長城中継所	H28．3	５年	日本無線	Ｒ４．11
				いくしょうほんぶ	消防本部	H28．3	５年		Ｒ４．11
陸上移動局(卓上型)	1	10W	① 活動波１ ② 活動波２ ③ 統制波１ ④ 統制波２ ⑤ 統制波３ ⑥ 主運用波３	いくしょうほんぶ１	消防本部	H28．3	５年	富士通ゼネラル	Ｒ７．５
陸上移動局(可搬型)	1			いくしょうかはん１	いちき分遣所	H28．3	５年		Ｒ７．５
陸上移動局(車載型)	14			いくしょうしき１	指揮車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうたんく１	署タンク車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうたんく２	通信室保管	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうぽんぷ１	ポンプ１	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうぽんぷ２	銀河号	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうかがく１	化学車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうきゅうじょ１	救助工作車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうはしご１	梯子車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうぼうかつ１	防災活動車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうしえん１	資器材搬送	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうしえん２	いちきミニ車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうきゅうきゅう１	救急１号車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうきゅうきゅう２	救急２号車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょうきゅうきゅう３	救急３号車	H28．3	５年		Ｒ７．５
陸上移動局(携帯型)	27	5W	① 活動波１ ② 活動波２ ③ 統制波１ ④ 統制波２ ⑤ 統制波３ ⑥ 主運用波３	いくしょう１１	指揮車	H28．3	５年	富士通ゼネラル	Ｒ７．５
				いくしょう１２		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう１３		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう１４	署タンク車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう１５		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう１６		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう１７		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう１８	救急１号車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう１９		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２０	救助工作車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２１		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２２		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２３	救急２号車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２４		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２５		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２６	通信指令室	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２７		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２８		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう２９		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう３０	ポンプ１	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう３１		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう３２		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう３３	救急３号車	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう３４		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう３５	銀河号	H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう３６		H28．3	５年		Ｒ７．５
				いくしょう３７		H28．3	５年		Ｒ７．５

イ　消防団　　（Ｒ３．４．１現在）

局　別	数	電力	周　波　数	呼　称	設置場所	納品年月	経過年数	会　社　名	再免年月
陸上移動局（車載型）	17	10W	① 活動波１ ② 活動波２ ③ 統制波１ ④ 統制波２ ⑤ 統制波３ ⑥ 主運用波３	いくしょうだんほんぶ１	団本部 団本部車	H28．3	５年	富士通ゼネラル	R7．5
				いくしょうちゅうおう１	中央分団 たつまき号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうちゅうおう２	中央分団 すいせい号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうもとうら１	本浦分団 あさかぜ号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうてるしま１	照島分団 照月号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうてるしま２	照島分団 くろせ号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうはしま１	羽島分団 さちかぜ号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうはしま２	羽島分団 積載車	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうつちかわ１	羽島分団 あこう号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうあらかわ１	荒川分団 荒星号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうあさひ１	旭分団 こがね号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうせいふく１	生福分団 生龍号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうかんむりだけ１	冠岳分団 やまびこ号	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうみなと１	湊分団 飛竜	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうかわみなみ１	川南分団 蒼竜	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうかわきた１	川北分団 海竜	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうかわかみ１	川上分団 昇竜	H28．3	５年		R7．5
陸上移動局（携帯型）	15	5W	① 活動波１ ② 活動波２ ③ 統制波１ ④ 統制波２ ⑤ 統制波３ ⑥ 主運用波３	いくしょうだんほんぶ１１	団本部	H28．3	５年	富士通ゼネラル	R7．5
				いくしょうだんほんぶ１２	団本部	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうだんほんぶ１３	団本部	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうちゅうおう１１	中央分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうもとうら１１	本浦分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうてるしま１１	照島分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうはしま１１	羽島分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうあらかわ１１	荒川分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうあさひ１１	旭分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうせいふく１１	生福分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうかんむりだけ１１	冠岳分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうみなと１１	湊分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうかわみなみ１１	川南分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうかわきた１１	川北分団	H28．3	５年		R7．5
				いくしょうかわかみ１１	川上分団	H28．3	５年		R7．5

Ⅵ　気　　象

年平均気温	・・・・・・・・・・	１８．４℃
年間降水量	・・・・・・・・・・	２４９１．０㎜
年平均風速	・・・・・・・・・・	３．０㎧

1　気象観測の状況

（Ｒ２年中）　【観測所：消防署】

区分＼月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
快晴日数		4	3	4	6	2	2	0	4	1	6	9	3	44
晴天日数		4	11	12	12	10	6	10	18	11	15	10	13	132
曇天日数		22	8	10	11	15	15	15	7	12	8	10	15	148
雨天日数		1	7	5	1	4	7	6	2	6	2	1	0	42
雪日数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
降水日数		13	10	16	6	10	18	18	8	17	4	7	5	132
降水量		78.0	157.0	110.5	106.0	262.5	537.0	656.0	116.5	249.0	68.0	126.0	24.5	2491.0
最大日降水量		20.5	45.0	24.0	34.5	77.0	92.0	240.0	54.5	76.5	44.5	52.5	13.0	最大/日 240.0
風速	平均	2.7	3.1	3.2	3.3	3.0	3.3	3.6	2.6	3.1	2.4	2.6	2.8	年平均 3.0
	瞬間最大	27.5	28.3	23.8	21.7	18.0	21.4	21.9	17.9	39.3	17.6	16.9	24.7	最大/年 39.3
気温	平均	10.7	11.0	13.2	14.6	20.8	24.5	26.3	28.7	24.8	20.3	16.5	9.6	年平均 18.4
	最高	21.7	20.6	21.3	21.8	28.9	31.7	31.5	35.7	33.0	29.4	26.6	19.9	最高/年 35.7
	最低	−0.9	1.1	2.7	6.5	13.3	18.6	18.7	24.1	16.7	10.8	6.5	−0.3	最低/年 −0.9
相対湿度	平均	78.4	75.4	78.5	71.7	83.1	93.0	95.6	89.4	86.4	75.7	76.8	69.7	年平均 81.1
	最高	99.0	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	最高/年 99.9
	最低	35.9	17.5	0.9	34.6	29.9	51.5	57.6	55.1	38.5	38.3	38.6	35.1	最低/年 0.9
実効湿度	平均	78.0	74.9	78.5	72.1	82.7	92.8	95.8	89.6	86.1	76.1	76.7	69.7	年平均 81.1
	最高	94.6	97.9	98.9	95.1	99.1	99.8	99.9	98.9	99.5	93.3	95.9	90.0	最高/年 99.9
	最低	61.1	52.0	53.1	52.6	63.3	75.4	82.8	80.0	60.5	58.1	59.1	59.0	最低/年 52.0
現地気圧	平均	1018.7	1022.1	1015.7	1015.9	1010.7	1008.2	1009.0	1010.3	1008.8	1015.0	1021.1	1021.6	年平均 1014.8
	最高	1030.6	1033.2	1023.9	1023.1	1018.7	1015.8	1018.7	1018.7	1018.7	1022.8	1029.6	1019.8	最高/年 1033.2
	最低	993.7	1010.6	999.2	998.6	998.4	998.9	1002.0	1002.8	968.5	1007.2	1010.6	1006.4	最低/年 968.5

備　考

天候の記録は、午前9時現在の観測である。
降水日数は、降水量が0.5mm以上あった日数である。

2 風向の状況

(R2年中)

風向＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
北北東 (NNE)	23.8	20.2	14.7	9.7	7.5	7.0	4.5	6.3	16.0	24.4	24.8	27.5	15.5
北　東 (NE)	13.7	13.6	18.7	21.4	18.9	16.0	10.8	22.5	22.9	19.2	13.8	11.1	16.9
東北東 (ENE)	4.7	4.8	5.2	2.4	11.8	9.4	5.1	10.8	9.5	4.9	6.2	2.8	6.5
東　(E)	3.0	4.1	4.9	3.1	10.5	4.0	5.9	10.8	3.5	2.0	3.2	1.2	4.7
東南東 (ESE)	1.1	1.1	1.7	1.4	3.4	3.0	6.1	4.6	2.3	0.7	1.7	0.4	2.3
南　東 (SE)	0.6	2.0	1.2	0.9	2.3	4.7	6.8	4.2	1.8	0.4	1.9	0.2	2.3
南南東 (SSE)	1.2	1.2	1.2	0.7	2.0	7.8	8.4	5.1	3.5	0.6	1.0	0.2	2.7
南　(S)	0.7	0.9	2.0	1.3	2.0	11.3	17.1	5.3	5.0	0.7	0.6	0.2	3.9
南南西 (SSW)	0.1	0.8	1.2	1.5	2.8	7.9	8.2	4.2	4.6	1.1	0.5	0.1	2.8
南　西 (SW)	1.0	1.2	2.5	2.0	2.6	7.3	6.7	4.8	3.4	1.3	0.5	0.3	2.8
西南西 (WSW)	0.6	2.5	3.3	4.2	6.2	8.8	8.3	9.5	4.9	3.4	1.8	0.6	4.5
西　(W)	3.7	5.6	5.5	12.7	14.6	6.0	6.0	8.2	4.8	4.0	2.7	1.3	6.3
西北西 (WNW)	4.2	10.2	10.0	13.0	4.8	1.1	2.9	0.5	1.7	3.2	2.8	1.4	4.7
北　西 (NW)	10.0	10.8	10.1	13.4	3.7	0.7	1.0	0.5	2.9	7.9	11.5	8.6	6.8
北北西 (NNW)	12.7	10.6	10.6	7.9	2.8	1.4	0.7	0.7	4.7	11.2	14.0	22.6	8.3
北　(N)	18.9	10.4	7.2	4.4	4.0	3.4	1.7	2.0	8.4	15.2	13.0	21.7	9.2

※ 風向頻度(%)を示す。

3 各地の降水量(防災テレメーターによる。)

(R2年中)

観測所＼月	冠　岳	生　福	旭	荒　川	羽島支所	土　川	消防署
1							78.0
2							157.0
3							110.5
4							106.0
5							262.5
6	防災テレメーター更新中のため観測データなし						537.0
7							656.0
8							116.5
9							249.0
10							68.0
11							126.0
12							24.5
合計							2,491.0

Ⅶ　付　　録

1　串木野市消防本部の沿革

明治３６年１２月	○串木野村消防組創立
大正　５年　９月	○腕用ポンプ購入
大正　５年	○市来村湊町に公設消防組を組織（他の地域は、私設消防組を組織）
大正　９年	○青年団により私設の島内消防組を組織（鳶口１０丁、水汲み用木製ツルベ１０個、梯子1つを配備）
昭和　６年１０月	○行幸記念事業で手引ガソリンポンプ購入
昭和　９年　５月	○消防ポンプ自動車（フォード）購入
６月	○優良消防組として県知事表彰を受ける。
昭和１０年　４月	○町制施行により串木野町消防組に改称
昭和１４年　４月	○内務省令により串木野町警防団（７分団）に改称
	○市来町警防団を結成（４分団）
昭和２０年　６月	○中央分団地区から本浦地区を分離し、水上分団を設立
昭和２２年　８月	○警防団の組織を串木野町消防団（8分団）、市来町警防団（4分団）として改編
昭和２３年　５月	○串木野町消防団常備部発足（部員１２名、消防車〔フォード〕１台）
９月	○電話器が常備詰所に設置される。
昭和２５年　８月	○優良消防団として消防庁長官表彰を受ける。
１０月	○市制施行により串木野市消防団と改称
昭和２６年　４月	○常備部団員定員１４名となる。（２名増員）
昭和２９年　１月	○常備部詰所を浜田通りロータリー南西角に移転（現在の旭町１番地）
３月	○常備部に消防ポンプ自動車（日産）を購入
４月	○串木野市消防本部・消防署設置（職員定数１５名）
	初代消防長　大囿純夫　就任
１０月	○消防職員１名採用（実員１５名）
昭和３０年　６月	○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入し、運搬車を照島分団に配置替
８月	○水上分団及び照島分団に小型動力ポンプ（ラビット）を購入
９月	○消防団定数条例改正　２３７名となる。
	○水上分団を本浦分団に改称
昭和３１年　５月	○消防職員１名採用（実員１５名）
昭和３１年１０月～ 昭和３２年１０月	○生福、旭、羽島、荒川、冠岳、中央の各分団に小型動力ポンプ、本浦分団に運搬車を購入
昭和３３年　４月	○消防団定数条例改正　２２７名となる。
６月	○消防職員１名採用（実員１５名）
１１月	○第１回串木野市消防操法技能競技大会を実施
昭和３４年　６月	○消防職員１名採用（実員１５名）
昭和３４年　７月～ 昭和３５年１０月	○照島分団に運搬車、本浦・照島分団に小型動力ポンプ、消防署に水槽付ポンプ自動車を購入
昭和３６年　４月	○消防職員１名採用（実員１６名）
９月	○串木野警察署と「災害救助に関する協定」を締結
昭和３７年　４月	○中央分団に運搬車、照島分団別府班に小型動力ポンプを購入
昭和３８年１１月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入し、運搬車を旭分団に配置替
昭和３９年　２月	○本浦分団及び照島分団別府班のポンプ庫を新築
５月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入
昭和４０年　４月	○消防職員１名採用（実員１７名）
７月	○消防団定数条例改正　２０４名となる。

昭和４０年　７月	○串木野局の電話自動化により１１９番の専用線を開設
昭和４１年　２月	○日本消防協会より、消防団表彰旗を授与される。
４月	○消防職員１名採用（実員１７名）
７月	○第２代消防長　大久保重雄　就任
	○消防職員１名市役所から転入（実員１７名）
１１月	○消防署に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入し、昭和２９年３月購入の消防ポンプ自動車（日産）を羽島分団に配置替
昭和４２年　１月	○羽島分団の車庫を羽島５，２３７番地に新築
７月	○消防職員１名市役所から転入（実員１８名）
	○市来町・東市来町との消防相互応援協定を締結
８月	○中央分団に小型動力ポンプを購入
	○消防団定数条例改正　２１０名となる。
９月	○消防職員１名採用（実員１９名）
昭和４３年　２月	○消防署に救急自動車（日産セドリック）を購入、任意で救急業務を開始
３月	○消防職員１名採用（実員２０名）
５月	○川内市と消防相互応援協定を締結
１２月	○生福分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
昭和４４年　３月	○消防無線局を開設
４月	○消防職員１名市役所から転入（実員２１名）
１１月	○照島分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（運搬車を廃車）
１２月	○市来町・東市来町との救急業務応援協定を締結
昭和４５年　１月	○消防職員１名採用（実員２１名）
４月・５月	○川内市と救急業務相互応援協定、里村・上甑村と救急業務応援協定を締結
６月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」を締結
昭和４６年　３月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（運搬車を廃車）
６月	○消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
７月・８月	○樋脇町と消防相互応援協定並びに救急業務応援協定、下甑村と救急業務応援協定を締結
９月	○消防職員１名採用（実員２２名）
昭和４６年１０月	○第３代消防長　入江　森　就任
１１月	○消防職員１名採用（実員２２名）
	○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新）
昭和４７年　２月	○市合同庁舎が昭和通１３３番地１に新築され、消防本部・署も移転
	○中央分団の車庫詰所を旭町１番地２に新築
３月	○優良消防機関（消防本部・消防団）として消防庁長官表彰を受ける。
８月	○荒川分団の車庫詰所を荒川２，３４７番地に新築
１２月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳１２，９８４番地２に新築
	○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）、羽島分団に小型動力ポンプを購入
昭和４８年　２月	○鹿島村と救急業務応援協定を締結
３月	○生命保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
７月	○日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置
	○消防職員１名採用（実員２３名）
９月	○消防職員１名採用（実員２４名）

昭和４８年１１月	○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
	○旭分団の車庫詰所を下名１４，１０５番地に新築
昭和４９年　４月	○消防職員１名採用（実員２４名）
１１月	○羽島地区の電話自動化により１１９番専用線を開設
１２月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和５０年　９月	○照島分団の車庫詰所を下名７，５７４番地１に新築
１０月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
１２月	○中央分団に運搬車（トヨタ）を購入（更新）
昭和５１年　４月	○羽島分団の車庫に隣接して詰所を新築
６月	○消防団本部に赤バイ（ヤマハ２５０cc）を購入
７月	○本浦分団及び生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
１０月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
	○市来町消防団役場分団結成 日本消防協会から可搬動力ポンプ積載車の寄贈及び松下町長の命を受け、17名で発足する。
１２月	○職員定数条例改正　２６名となる。
昭和５２年　４月	○消防職員３名採用（実員２６名）
９月	○日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	○旭、照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和５３年　３月	○職員定数条例改正　２８名となる。
４月	○消防職員２名採用（実員２８名）
５月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
７月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入（更新）
１０月	○日本防火協会から広報車の寄贈を受ける。
昭和５４年　３月	○羽島分団土川班のポンプ庫詰所を羽島９，６７５番地に新築
４月	○消防職員２名採用（実員３０名）
６月	○照島分団及び照島分団別府班に小型動力ポンプを購入（更新）
８月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
９月	○荒川分団の小型動力ポンプ（５３年５月購入分）を旭分団に配置替
昭和５４年１１月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
	○本浦分団の車庫詰所を西浜町１番地に新築
昭和５５年　１月	○第４代消防長　軍神　計　就任
６月	○中央分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和５５年　７月	○冠岳分団に小型動力ポンプを購入（更新）
１２月	○生福分団の車庫詰所を上名９，１２９番地に新築
昭和５６年　２月	○日本自動車工業会から救急車の寄贈を受ける。
４月	○消防職員２名採用（実員２９名）
５月	○川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結（川内市との従前の協定を破棄）
８月	○第１回串木野市消防団規律訓練大会を実施
昭和５７年　３月	○甑島４村及び樋脇町との救急業務応援協定を破棄
１０月	○日置地区消防組合と「消防・救急業務応援協定」を締結（従前の協定を破棄）

昭和５７年１１月	○生福分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和５８年１２月	○照島分団別府班のポンプ庫詰所を下名３，３６２番地２に新築
昭和５９年　２月	○消防本部・署の庁舎を昭和通１３３番地１に新築し移転
４月	○指宿地区消防組合と「消防無線使用時の混信に関する協定」を締結
１１月	○照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和６０年　３月	○第５代消防長　植屋一郎　就任
４月	○消防職員１名採用（実員２８名）
	○串木野ライオンズクラブから指揮連絡車（日産）の寄贈を受け、消防署に配置
１０月	○中央分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和６１年１０月	○消防職員条例定数改正　３１名となる。
	○羽島分団土川班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入
１２月	○市来町・樋脇町と「消防相互応援協定」を締結
	○川南分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
昭和６２年　４月	○消防職員４名採用（実員３１名）
１０月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
１２月	○川上分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
昭和６３年１２月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成元年　２月	○消防署に救急車（トヨタ）を購入（更新）
４月	○消防職員１名採用（実員３１名）
１０月	○消防職員条例定数改正　３４名となる。
	○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成２年　１月	○コーアガス鹿児島㈱から救急車（トヨタ）の寄贈を受ける。
４月	○消防職員３名採用（実員３４名）
１０月	○消防職員条例定数改正　３８名となる。
	○消防署にはしご付消防自動車（２４m級）を購入
	○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成３年　３月	○串木野市消防団条例の全部改正
４月	○消防職員２名採用（実員３６名）
平成３年　９月	○消防職員１名採用（実員３７名）
	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
平成４年　１月	○鹿児島県消防相互応援協定締結
３月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
８月	○日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車（いすず）の寄贈を受け、中央分団に配置
	○石油コンビナート等特別防災区域指定
	○本浦分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
１０月	○消防庁舎の車庫、倉庫を増改築
１１月	○昭和５０年に購入した中央分団の運搬車を消防署に配置替
	○消防署に化学消防ポンプ自動車（三菱）を購入
平成５年　３月	○中央分団の車庫詰所を旭町１番地２に中央地区コミュニティ消防センターとして新築

平成５年　４月	○第６代消防長　俣木一幸　就任
	○消防職員３名採用（実員３７名）
	○役場分団に小型動力ポンプ積載車を購入（更新）
平成６年　３月	○荒川分団の車庫詰所を荒川２，４５０番地に新築
４月	○消防職員１名採用（実員３７名）
	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」の一部改正
８月	○鹿児島県消防相互応援協定の一部改正
１０月	○照島分団別府班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入（更新）
平成７年　２月	○旭分団の車庫詰所を下名１４，１０３番地１５に旭地区コミュニティ消防センターとして新築
３月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳１２，９８４番地２に冠岳地区コミュニティ消防センターとして新築
４月	○第７代消防長　尾﨑正躬　就任
	○消防職員２名採用（実員３８名）
平成８年　３月	○照島分団の車庫詰所を東島平町４１７番地１に照島地区コミュニティ消防センターとして新築
	○団本部に指揮連絡車（トヨタ）を購入
４月	○消防職員１名採用（実員３８名）
	○日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け消防署に配置
８月	○生福分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	○本浦分団、生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成９年　１月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
３月	○羽島分団の車庫詰所を羽島５，２１８番地に羽島コミュニティ消防センターとして新築
４月	○第８代消防長　植ノ原敬一　就任
	○消防職員１名採用（実員３８名）
９月	○日本地下石油備蓄㈱串木野事業所と応援協定を締結
１１月	○中央仮設株式会社から指揮広報車の寄贈を受け消防署に配置
１２月	○湊・川北分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
平成１０年　１月	○羽島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
２月	○旭分団に小型動力ポンプを購入（更新）
４月	○川内地区消防組合と「携帯電話等からの１１９番通報転送等に関する協定」を締結
８月	○日本消防協会から軽可搬ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。
１２月	○照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成１１年　４月	○第９代消防長　橋之口博繁　就任
	○消防職員１名採用（実員３８名）
平成１２年　３月	○串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結
	○本浦分団車庫詰所を西浜町１番地２に本浦地区コミュニティ消防センターとして新築（平成１１年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
１１月	○消防署に小型動力ポンプ付積載車を購入 （平成１２年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	○高規格救急自動車を購入し、平成１３年１月１日運用開始 （平成１２年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）

平成１２年１１月	○気象情報収集装置を整備（平成１２年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
１２月	○鹿児島県より原子力防災資機材として軽トラック（運搬車）の貸与を受け、消防署に配置
平成１３年　４月	○第１０代消防長　平石耕二　就任
	○消防署に救急車（トヨタ）を購入（更新）
１２月	○荒川、旭、冠岳分団に小型動力ポンプ（Ｂ３級）を購入 （平成１３年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成１４年　９月	○旭分団芹ヶ野ポンプ庫撤去
平成１５年　４月	○第１１代消防長　福薗照雄　就任
	○消防職員１名採用（実員３８名）
	○川南・川上分団に小型動力ポンプを購入（更新）
７月	○串木野・市来合併協議会が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
１０月	○生福地区コミュニティ消防センターの建設用地（上名６，６６０番１外２筆・面積４５２．３３㎡）を購入（平成１５年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成１６年　４月	○串木野市消防本部の組織等に関する規則の一部改正 「施設装備係」を「救急救助係」に改めるとともに、消防本部の事務分掌も一部改めた。
１０月	○湊・川北分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成１７年　２月	○日置地区消防組合と「川内道路における消防相互応援協定」を締結
３月	○国土交通省鹿児島国道事務所・県警察本部交通部高速道路交通警察隊・日置地区消防組合と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結（３月１３日　串木野・市来区間開通）
	○生福分団の車庫詰所を上名６，６６０番地１に生福地区コミュニティ消防センターとして新築（平成１６年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	○本浦分団、照島分団、生福分団に小型動力ポンプ（Ｂ３級）を購入 （平成１６年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	○簡易地図検索装置を整備 （平成１６年度緊急地域雇用創出特別基金事業及び原子力防災資機材）
平成１７年　４月	○第１２代消防長　野田　豊　就任

２　串木野市消防本部の歴代消防長

代	就　任　年　月	退　任　年　月	氏　　名
初　　代	昭和２９年　４月	昭和４１年　６月	大　囿　純　夫
第 ２ 代	昭和４１年　７月	昭和４６年　９月	大 久 保 重 雄
第 ３ 代	昭和４６年１０月	昭和５４年１２月	入　江　　森
第 ４ 代	昭和５５年　１月	昭和６０年　３月	軍　神　　計
第 ５ 代	昭和６０年　３月	平成　５年　３月	植　屋　一　郎
第 ６ 代	平成　５年　４月	平成　７年　３月	俣　木　一　幸
第 ７ 代	平成　７年　４月	平成　９年　３月	尾　﨑　正　躬
第 ８ 代	平成　９年　４月	平成１１年　３月	植 ノ 原 敬 一
第 ９ 代	平成１１年　４月	平成１３年　３月	橋 之 口 博 繁
第１０代	平成１３年　４月	平成１５年　３月	平　石　耕　二
第１１代	平成１５年　４月	平成１７年　３月	福　薗　照　雄
第１２代	平成１７年　４月	平成１７年１０月	野　田　　豊

3 歴代消防団長

（1）旧串木野市

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防組	初代	明治３６年１２月	明治４４年　５月	中尾浅助
	第２代	明治４４年　６月	大正　５年　７月	江藤千代蔵
	第３代	大正　５年　７月	大正　５年１１月	松元幸助
	第４代	大正　５年１１月	大正１１年　６月	折田金次郎
	第５代	大正１１年　６月	昭和　５年１０月	池田良之助
	第６代	昭和　５年１０月	昭和１４年　３月	江藤千代蔵
警防団	第７代	昭和１４年　４月	昭和１４年　９月	田尻森吉 (町長兼務)
	第８代	昭和１４年１０月	昭和１９年　４月	江藤千代蔵
	第９代	昭和１９年　４月	昭和２２年　７月	花牟禮武夫
消防団	第１０代	昭和２２年　８月	昭和２６年　８月	冨宿與助
	第１１代	昭和２６年　８月	昭和３０年　７月	福山盛吉
	第１２代	昭和３０年　８月	昭和３７年　３月	冨宿與助
	第１３代	昭和３７年　４月	昭和４３年　３月	須崎巽
	第１４代	昭和４３年　４月	昭和４７年　３月	寺師彦好
	第１５代	昭和４７年　４月	昭和６３年　３月	益満利幸
	第１６代	昭和６３年　４月	平成１６年　３月	網屋長行
	第１７代	平成１６年　４月	平成１７年１０月	岡田正治

（2）旧市来町（※ 昭和１４年４月に警防団を結成、初代団長は井上新吉でその他については、不明）

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防団	初代	昭和２２年　８月	昭和５２年　４月	田﨑勇藏
	第２代	昭和５２年　５月	昭和５７年　６月	白石久治
	第３代	昭和５７年　６月	昭和５９年　４月	久木薗耕平
	第４代	昭和５９年　５月	平成　３年　９月	西ノ園厚志
	第５代	平成　３年１０月	平成　５年　３月	前田二夫
	第６代	平成　５年　４月	平成　９年　３月	新村明
	第７代	平成　９年　４月	平成１７年１０月	山元幸夫

（3）いちき串木野市

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成１７年１０月	平成２５年　３月	岡田正治
第２代	平成２５年　４月	平成２９年　３月	井手迫正昭
第３代	平成２９年　４月	平成３１年　３月	大迫修藏
第４代	平成３１年　４月	現在	西村博孝

火 事 と 救 急 は
１ １ ９ 番

いちき串木野市消防本部

鹿児島県いちき串木野市昭和通 133-1

〒896-8601　電　話 0996（32）０１１９
ＦＡＸ 0996（32）４３９６